京城日報

○重大なる總統府秘密會議
駐英及び駐日兩公使より密電に接し總統府秘密會議開かれたり內容は極て重大なりと傳へらる（北京電報）

○山東青州の土匪猖獗
青州方面の土匪益々猖獗にて爲めに濟南四十七旅團兵十五日同地に向け急行したり（濟南特電）

○順德を攻擊したる革軍
廣東來電に曰く革命軍は最近廣東三角州の順德及び其附近の市街を攻擊し警察署兵營より兵器彈藥を奪ひたり尙ほ革命軍は砲艦數隻を奪取せんと企てたるも成功せず官軍と衝突するに及びて逃走せり兩軍の損害は各三百名なり（上海特電）

○英艦臨檢理由發表
輿論の沸騰せる英艦臨檢事件に就き我政府の質問に對する英國の回答に基き十六日外務省は其理由を發表して曰く我商船が敵國の便宜を圖るの嫌疑ありて臨檢を遂行せりと（東京電報）

○日英軍艦の敵艦搜索
日本の常磐、千歲兩艦は英艦と協力し南米方面に獨逸假裝巡洋艦を搜索中なりと（桑港電報）

○對露番茶輸出
昨今露國に向け番茶の輸出頗る盛んとなれり（東京電報）

○全國實業大會
四月十五日全國實業大會を早稻田大隈伯邸に開催する事に決し夫れ夫れ通知を發したり（東京電報）

○西園寺侯入京
京都に閑居中の西園寺侯爵十六日朝入京神田駿河臺の自邸に入りたるが政友會員等の出迎人多かりき（東京電報）

○渡鮮部隊出發
第七師團（北海道旭川聯隊）の一部朝鮮新設師團に編入せられ十六日出發せり（東京電報）

◉通信數と商況
遞信局にては每年四月及び十月の二回に亙り電報通信狀態の詳細を調査し商況並に各地との關係を知り以て通信事業の計畫上參考に供し來りたるが客年九月卅日分の調査を爲したるもの此程發表されたるを以て其概要を記述せんに朝鮮全體と內地各府縣間に於ける通信は大阪を第一とし其數九百七十六通にして之れに亞ぐは東京、山口、兵庫、福岡、長崎、廣島の順位にて其れは百八十九通乃至五百三十通なりとす右の內東京城間の通信は前回調査の通信數に比し約八割三分の增加を來したるは共進會の開會中なりしと閑院宮殿下御滯京中なりしに由る可く大阪に對しては釜山元山淸津を除くの外は各地共通信增加せるは經濟上の關係頻繁となりし結果にして就中大阪京城間は五割一分を增加せり大阪との通信は單り都會地に對してのみならず朝鮮全般に涉り依然頻繁にして其一日間の發著通數は有料のみにて尙且九百五十餘通に達し東京、神戶、大連、安東、長崎、京都、門司、廣島等之れに次ぐ以上の狀況を以て之を查覈するに電報通信關係は商取引の最も密接なる地方を首位とし特に船舶の出入多き開港地は電信の利用最も頻繁なるを知るに足るべし更に之を鮮內の狀態に見るに全然其軌を一にし釜山、仁川、鎭南浦、群山、木浦及び淸津等は官報の發電少なきに拘らず其通信數は船舶の發著なき都會地に比し遙に多數を占め居れり今其實例を示せば

地方別	內地人口	電報
大邱	七、九六六	二九一
淸津	三、三〇八	二二四
太田	三、八九九	一三三
鎭南浦	五、〇二一	三一五

右の如くにて淸津は人口十五に對し一通鎭南浦は同十六に對し一通の割合なるも大田は人口二十九に對し一通大邱は同二十七に對し一通の割合となり居れるを認む

◉出品物の發送 臺灣共進會へ
臺灣勸業共進會に對する朝鮮よりの出品物は既に第一第二の兩回に分ちて約九十個（荷物）を發送せるが第三回として十七八日頃までに十六七個を發送す可く之れにて全部送り出し濟みの筈なり而して出品點數は約九千點なるも其三分二以上は賣品にして之れ等は何れも賣店に出陳す可く又た施設狀況に附帶せる民間側の出品は莞草製品、陶器、白蔘、螺鈿細工等の如き何れも朝鮮の特產物に限られ居れりと尙ほ陳列館接待館並に京城井上人蔘店の賣店は目下建設に着手す可く下準備中にして四月十日の開期までには竣成開館を見る可きこと勿論なり因みに係員たる木村屬、德久技手及び川津屬は五日何れも臺北に向け出發したり

◉浦項鰊漁況
慶北特產物たる迎日灣鰊漁況は一月以來大漁の時もありしが概して平年と異ならず目下每日五十同內外の捕漁あり而して例年三月初旬相場は一同十五六圓に過ぎざりしも本年は三十五六圓の高値を保ちつゝあり又例年大漁のときは一時に二三百同も水揚せし事もありしが不漁のときは一尾も見ざる事あり爲に相場一定せず商下甚しく從つて利益も豫想外に僅少なりしが本年は斷えず五十同內外の收獲あるを以て相場一定し意外に當業者は利益を得つゝあり因に最近までの總收高十五六萬圓なるも本月末までには二十萬圓以上に達すべく豫期さる

◉蟹罐詰試驗
朝鮮產鱈蟹は罐詰として輸出に好適なるより當局に於ては之が主產地と目せらるゝ長箭及び馬養附近の生息狀態を實査せしめつゝあるが多數生息の見込あり十六日副池の近隣より其見本として約百二十個を送附し來れるより水產課にては近々之れが製造試驗に着手す可しと

十六日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金二圓八拾錢 一ヶ年金五圓五拾錢（郵送料共）

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲場所指定一行金壹圓 ▲三號活字は五號活字の二行 ▲二號活字は同三行 ▲一號活字は同四行

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 登口政太郎

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局 三四五番・二一四番 營業局 三六番・二六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

◉交代兵發著
朝鮮駐箚軍及び派遣隊は本年度限りにて常設師團と成り從前の二箇年目交代が變更せられたる次第なるが其名稱、組織乃至所屬將校等の任命は總て四月一日發表を見るべきが大正八年度迄は數に於て從來の儘とし其所屬兵士は全國各師團より一箇大隊宛を集合混成したるものにて其交代は派遣隊は三月十日過より之を開始し同下旬に終了すべく駐箚軍は四月中旬より開始して五月中旬に終了の豫定なり

◉新師編入滿洲部隊
朝鮮新設師團に編入せられたる滿洲駐屯師團よりの一箇大隊は遼陽、鐵嶺、柳樹屯、旅順の各聯隊より一箇中隊宛を以て編成せる者にて十五日龍山通過各所屬部隊へ配屬到着せり

◉交代兵輸送實施
軍司令部參謀松浦大尉は派遣隊交代兵輸送實施の爲め十八日出發六日間の日程にて大田、大邱、釜山へ出張の筈

◉北鮮巡視參謀長
北鮮部隊視察の途にある駐箚軍參謀長古海少將は三十一日の豫定の日取を早め二十三日歸任の事となれり

◉軍醫部長會議列席
來月十一日より東京にて軍醫部長會議開會に付駐箚軍々醫部長矢島柳三郎氏は四月二日出發廿五日頃歸任の筈

◉建設事務所長會議
開會日延期と成りゐたる鐵道局建設所長會議は各建設所長も入京、十六日より開會する事と成れり

◉荒井長官歸期
東上中なる荒井度支部長官の歸任期は未だ明確ならざるも議會終了後の打合はせ事項は大體一段落を告げ其他の要務も亦近々落著を見る筈なれば遲くとも本月下旬には歸任の運を見る可しと

◉川村中將危殆
金澤留守師團司令部より龍山なる第九師團司令部宛十五日午後一時五十五分發電に據れば川村師團長の病症は『午前十一時病症最も危殆に瀕せしも幸ふじて脈搏を觸るゝを得』とあり

◉ク博士入京
クラーク博士は十六日夜南大門驛著汽車にて入京十八日は昌德宮を觀覽す可しと

▲ク博士講演會 十六日夜入京のクラーク博士は十七日午後八時より南米倉町京城組合教會に於て『世界に於ける吾人の公友』と題し講演すべく一般の來聽を歡迎する由

◉ハリス博士出發
美以派監督ハリス博士は十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて出發す可し

◉專修學校卒業式
京城專修學校にては二十日午前十時より同校第五回卒業式を擧行す可し

◉各普通校の卒業式
京城府管內の公立普通學校十一校は來る二十五日午前午後の二回に於て各校一齊に卒業式を擧行する由

元山
▲學校組合豫算 今回認可となれる大正五年度元山學校組合の豫算を見るに歲入經常部に於て二萬五千四百二十四圓同臨時部一萬二千七圓にして歲出經常部は三萬三百七十七圓同臨時部七千十四圓即ち總額三萬七千四百三十一圓となり之れを前年度に比較すれば八百十六圓の減少となり居れり

▲新設燈臺點火 元山灣內に新設せられたる石根礁燈臺は去る十一日本府より小島技師來任目下燈具取付けに著手し兩三日中に完成の豫定なれば數日內に點火實施を見るに至るべし

▲野犬撲殺 近來市內にては野犬に噛み付かるゝもの頗る多きが爲め警察署にては十三日より之れが撲殺を開始したり

仁川
▲學校組合評議員會 仁川學校組合にては去る十三日午後四時より商業會議所樓上に於て評議員會を開催し議員八名出席の上定刻席定まるや久水府尹開會を宣し議事に移り原案に對し賦課等級其他に付修正を加へ決定したる上退散せり

江華
▲金鑛の試掘 兩寺面一帶に亙る金鑛區は鑛主某の手續を了し試掘に著手せり果して該金鑛の實現を見ば本島の將來は著しく發展を見るべし

▲俱樂部設置計劃 當地は未だ一の娛樂機關無きを遺憾とし頃來有志者間に於て俱樂部を設備し圍碁將棋は勿論歐留多其他の娛樂をも擔ひ行々は玉臺をも据付け傍ら圖書館を兼ね矯風會をも設備する筈なりと

▲在鄉軍人分會の設立 當地在鄉軍人は其數寡少の故を以て從來仁川分會に合併し居たるも近く獨立分會設立の運びに至るべく川島（備）三等獸醫を會長に擧げ副會長其他の任命を見るならんと

鎭南浦
▲大典記念公園 鎭南浦の大典記念事業たる記念公園は既報の如く場所を大神宮横記念碑附近乃ち櫻山麓四萬九千坪を買收し本月下旬より土工に著手し來る四月三日は神武天皇祭に付市民多數出動の上記念植樹を行ふべし尙右四萬九千坪に接續せる官有地二萬三千坪をも府より道廳の手を經て讓渡方出願中なれば此分許可となれば合計七萬二千坪の大公園となるべし

▲屠獸場の移轉 鎭南浦の屠獸場移轉問題は久しく懸案となり新設地の詮衡中なりしが今回愈々碑石里內篭山麓と決定、從來の建物を移轉せし上尙五千餘圓を投じ增築をなすべく目下當局にて設計取急ぎ中

▲事業實施委員 大典記念公園施設事業實施委員には市中の主立つ者約百名を推す事となりたり

洪州
▲尋常小學校新築 校舍一棟建築著手中にして竣工地は邑廳の北方城壁に沿ひ月山と相對し南山の松緣を前にし位置最も適當なり土工は附近朝鮮人の特殊寄附にして約千名を要すべく組合よりは若干の資を提供するのみ內地人側は此の鮮人美擧を大に喜び双者の親和一段の厚きを加ふるに至れり

▲重石熱 洪城邑の北里許に龍鳳山あり重石鑛山にして本年金裕璽出願許可を受け目下工夫二十人にて試掘に著手し有望なる由にて龍鳳山、紅東山、月山の三角點內の禿山は全及び重石脈に富み既に四五名は重石採取出願し尙土地の人々等探檢に熱中し京城よりも多數の鑛業家入り込み其の他烏棲山智異山方面にも著目するものあり地方は重石熱にて持切りの有樣なり

▲軍人分會茶話會 邑內居住廿五名の在鄉軍人分會の組織と軍事研究の目的を以て本年一月より茶話會を開催することゝなり三月十日陸軍記念日に第三回を催ふし會員の奉天會戰使役談等あり會員の喝采を博し且當四月三日記念植樹の施行等を協議し時間勵行の申合せ等あり頗る盛會なりしと

▲語學研究會 邑內小松村長、豊田商務主任の發起による同會は月、水、金曜日鮮人官吏有志等の國語研究に火、木、土曜日に內地人の鮮語研究日にして一回二時間一箇年の豫定にて一月開設以來會員良くして二十四名進步見るべきものありと

光州
▲打瀨網の將來 麗水灣を根據地として愛知縣の打瀨網漁船三十餘隻は羅老島より慶南莞知島沖に從漁し一年平均大型船一隻一箇月七十圓、小型船一隻同百圓內外の收益を擧げ一般漁業の休止時期なる冬期漁業を爲して萬丈の氣焰を吐き麗水をして終年魚類を絕たざらしむるに至りしが尙ほ將來に於て本漁業の如き沖漁は益々發展の餘地あり木浦等にして靑山島莞島大黑山島等に打瀨網を出漁せしむるに於ては頗る有望なるべしと

▲光陽蠣養殖 釜山在留の宮本某は光陽河吉島附近にて蠣養殖を爲すべく五萬坪の借區を出願して其の筋の免許を得たるが同吉島は住民八十戶ばかりを有し年來灰貝螺の採取を爲して生活の資を助け居りし地にて附近一帶は養殖地として實に好適の地なりと

▲粒選大豆の效果 本道は各郡鮮人をして播種大豆の粒選を奬勵し來りたるが其の結果大正三年に於て粒選大豆作付反別一千二百七十五町步收穫五千零四十二石反當收量三斗九升五合なりしもの同四年は九千零六十五町即ち七倍の多きに達し收穫は六萬零十六石反當收量六斗六升二合に及びたりと

鬱島
▲漁業近況 昨月以來北鮮陵島に於ける漁況は概して不漁なるも二月中鯣四百貫鯖魚三十貫海鼠二千三百五十貫鰒五十貫の漁獲に大に減少せり是れ原因は濫獲の結果なりと觀測さる

長鬐
▲市場金融 長鬐沿岸例年の如き漁獲なかりし爲め此方面に於ける金融は頗る閑散を告げ一般金融界頗る沈靜の狀なり目下金利內地人間四步乃至二步內地人對鮮人五步乃至三步鮮人間五步乃至三步を上下しつゝあり

乃城
▲市場經濟 舊正月の後を受け金融界頗る閑散物價の集散又見る可きものなし市場價格三圓四十錢玄米九圓大麥二圓六十錢小麥三圓八十錢大豆二圓八十錢を唱へつゝあり

釜山
▲學校組合會議 釜山學校組合豫算、戶別割等級の調查委員會は十四日を以て終了に付十七日午後一時より府廳樓上にて本會議を開き調查委員より委員會の結果を報告す可し

▲中學校の試驗結果 釜山中學校に於ては去る十一日より十四日に亙り入學試驗を執行せし處二百五十二名の內九十七名は合格收容し補缺として十五名を定めたり

▲商業學校授業開始 去る八日燒失したる釜山公立商業學校は其後授業開始につき種々善後策を講じ居りしが愈々草梁普通學校を借り受け十五日より授業を開始したり

▲賣却南濱商議土地登記濟 釜山商業會議所所有不動產南濱町一丁目の地所全部賣買讓調ひ居りしが其後所有權移轉登記の準備中なりし處總ての書類完成したるを以て十五日全部提出し登記をなしたり

▲興業倉庫開始期 朝鮮興業會社釜山支店にては本月二日より北濱埋築地に二百六十坪の倉庫增築中なりしが之れが落成も近日に在るを以て來る二十日過ぎより開業する事に決したり特に本月中は保管料も無料なる由之れにて同社舊新倉庫の收容力は實に十一萬俵に上るを得べし

倭館より
▲曾ては洛東江畔の栗林、一孤村の倭館、今は京釜線、洛東江の十字交叉地となり特に米穀集散地として名あり足を入る度每に發展の兆候著しく、見るだに心嬉し▲停車場已に狹隘を告げ今や改築に著手し土工を急ぎつゝあり五年度中には金泉新築停車場と同樣竣成するに至る倭館の前途祝すべし▲倭館！さながら日本民族の寓居地とも稱すべき地名を幾度か心に繰返して地勢を眺むれば山下端邊邑を經て一葉の赴く所を恣にする江流紺碧を染めて山間に入る無限の興味を感じながら余は景州に赴く

回名古屋より
名古屋市の鐵工業者及び時計製造組合に對する大阪東京兵工廠よりの軍需品下受に就ては、同工廠員來名、製產能力其他に關し調査の結果、愛知時計製造組合十三戸に對し、信管の附屬品たる螺釘其他十種類數千二百四十五萬個、此價格約百五十萬圓を明年二月までに下受製造せしむる事となり、十二日關者間に契約調ひたるを以て、時計組合は時を移さず會合して製造方針に就て協議せり、又鐵工組合の下受分に對しては五鐵工場に於て隔板、鋲板其他にて一日約二萬個の製造下受を爲す事に內定し、其總額十二三萬圓見當なりと

人事消息
▲大庭久吉氏（平壤步兵七十九聯隊長）十五日午後釜山上陸北行
▲井出光輝氏（海軍中佐）十五日朝釜山上陸歸京
▲島田繁太郎氏（伊國大使館附武官）同上
▲宇島鼎氏（佛國巴里大使館附武官）同上
▲岡部和一郎氏（陸軍教育總監部步兵少佐）同上
▲田村明十郎氏（同上）同上
▲野崎茂氏（大邱第二大隊長）同上大邱へ
▲飯島純一氏（平北道技師）十五日午前釜山より內地へ
▲山口海軍少將（鎭海防備隊司令官）東上中の處十五日午前釜山上陸直ちに郵船にて鎭海へ
▲弓削幸太郎氏（總督府事務官）十五日午前內地より釜山著公立商業學校の燒跡視察の上同日歸任
▲若見侍從武官 十五日夜釜山より連絡船乘船滿洲方面へ
▲岸本鹿太郎氏（參謀本部第六課長）滿洲方面視察中の處十六日朝入京
▲伍島三郎氏（代議士）十六日朝入京
▲吉田謙吉氏（同上）同上
▲時永浦三氏（京畿道事務官）十六日朝京城府廳に出勤事務視察を爲す

◉北京通信
▲黑龍江鐵道 哈爾賓の松花江對岸對市山驛より呼蘭、海倫、通肯を經て墨爾根に至る線及び齊々哈爾より墨爾根を經て愛琿に達しブラゴエシチエンスクと連絡する鐵道の敷設權は日本の滿蒙五路と相前後して露支間の合意成立せしものなるが聞くところに據れば右の細目に關する交涉兩國の間に進捗し借款額は四千萬留にして東淸鐵道條約の例に照して經營せらるべしと

▲每月の軍費 袁總統が政事堂を經て財政部に交付せし書類に據れば中央政府直轄各師團臨時軍費臨時各省警備を併せ每月の需要六百五十萬元なりと

▲廣告▼

商業登記公告
朝鮮煙草株式會社ハ大正五年貳月拾七日本店ヲ左ノ所ニ移轉シタリ
大阪市北區曾根崎新地參丁目四拾七番地
右登記ス
大正五年參月拾四日
京城地方法院

生徒募集
本年四月東京本校本科第一學年ニ入學セシムベキ生徒ヲ募集ス詳細ハ分校ニ照會スベシ
大正五年三月
私立東洋協會植民專門學校 京城分校
入學試驗科目 英語、數學、漢文
試驗日時 三月三十日午前十時
場所 當分校

藥學生募集 短期速成 夜間教授
四月一日ヨリ新學期開始ス
第三期生日鮮人男女共約百名募集ス
高等小學卒業以上ハ無試驗入學許可
事務所 黃金町三丁目 長谷川町
朝鮮藥學講習所 電話二〇四三番
詳細は市內藥店にて問合されたし

茶代は一切御斷り申候
慶北道廳御指定 櫻屋旅館 慶北大邱

店員募集
一 數名入用に付希望者は本人直接來談あれ（但し當地在住の確實なる保證人二名以上を要す）
京城明治町 唐川吳服店

茶代廢止席料なし
東京市芝區愛宕町二丁目
旅館 月見館
閑靜清潔交通便利 電話芝一八六五番

第九期貸借對照表
自大正四年七月一日至大正五年一月

科目	金額
貸付金	[illegible]
貸付公債	[illegible]
事業拂資金	[illegible]
假拂金	[illegible]
土地	[illegible]
建物	[illegible]
營業用什器	[illegible]
受取手形	[illegible]
銀行預金	[illegible]
計	[illegible]
株金	[illegible]
積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
當座借越	[illegible]
假受金	[illegible]
借入金	[illegible]
公債	[illegible]
純益金	[illegible]

右之通ニ候也
大正五年三月十五日
京城府旭町二丁目十番地
朝鮮勸農株式會社
專務取締役社長 岡十郎
專務取締役 國重政亮
支配人 小野榮治

最上醬油
始政五年記念共進會銅牌受領
大邱東雲町
寳城釀造場
電話二六二番

◎邦人凌辱せらる
北軍兵士拔劍にて毆打す

十二日重慶に於て日本人柳澤五郎なる者北軍兵士の爲め拔劍を以て毆打され同行の支那人は重傷を負ひたり尙近來重慶に於て日本人支那官憲の爲め屢迫害せらるゝ事實ありと（北京特電）

◎十里のマラソン競走
江華島にて擧行＝昨年は四時間半

江華島有志の發起にて不日擧行す可き同島內の遠距離山野横斷大競走は其順路未だ決定せざるも各選手は當日五分間宛を隔てゝ基點を出發し寅火洞巡査駐在所より引返し倉橋巡査駐在所を經て乾坪巡査駐在所に至り歸著の豫定にて其間山岳險路十里餘に達し日鮮官民十餘名の選手參加す可く已に地方の有志は擧行の準備をなしつゝあるが今年は例年に比し選手多數の見込なりと優勝者には一等より七八等迄の賞品あり最先著者は例年四時間半前後を記錄し大、七時間內にて全部歸著すれど中には途中不幸落伍するもあり本年は選手の意氣込素晴らしく盛況疑ひなしと

◎校長から餞別の扇子
見よ彼等の面に希望は輝けり

京城中學校の第四回卒業式は十六日の午前十時から始まつた、式場なる雨天體操場の正面には紅白のだん幕を張つた前に壇を設け柴崎校長以下の職員を始め賓一同がその側に整列して式が始まる、此の日八十四名の卒業生は何れも

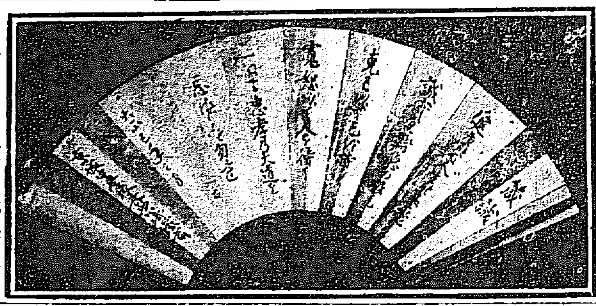
中學校卒業生八十四名＝朝鮮の工業專門學校に九名＝同じく醫學專門學校に十五名＝小學校教員養成所に九名＝[illegible]學校に廿名＝商工に九名＝高商に六名＝醫專六名＝士官學校三名

◇輝いた面に笑を浮べて意氣軒昂たるものゝ如く見えたが下級生一同の面にもまたかくし切れぬ悅びの色が見えた、斯くて校長の勅語捧讀と卒業證書及び賞品の授與が濟むで猶ほ一場の訓辭が了ると寺內總督代理白井陸軍少將の告辭代讀があり更に宇佐見長官の告辭があつた、長官は此學校が大陸の

◇日本の最前線にある中學であるから各自も其積で剛健な精神を捨つる勿れと云つた然も若々しい式場の氣分に醉うて餘程興奮した口調であつた、猶ほ父兄總代として吉田判事の謝辭があり卒業生總代の答辭が述べられて同十時五十分式を了つた、斯くて卒業生の一同は折柄折りしきる春の淡雪に惜しいやうな悲しいやうな氣分を有つて母校の門を散りぢりに出た、猶ほ卒業生の內九名の者は總督府中央試驗場內に

◇今年から新設の京城工業專門學校に入學し又九名の者は中學內の小學校教員養成所に入り、十五名はこれも今年から總督府醫院に新設せらるゝ京城醫學專門學校に入學する筈、合計三十三名の卒業生が京城で留入りが能きるのは非常な幸福である其他旅順の工科學堂に無試驗で入學確定の者もあるが總じて各種專門學校志望者が多く殊に工業などに志す者の多いのは

◇現代社會の風潮によるものであらう、其の他商業學校志望者が廿名、商工九名、高商六名、醫專六名、士官候補生三名の割であつた、猶ほ生徒の出身は福岡の九人と山口の八人と長崎の六人、熊本、東京、兵庫の各四人が主なるもの廣島が二人とは意外に尠ない、又生徒から非常に畏敬されつゝある柴崎校長は恒例の如く卒業生一同に對し自筆の扇子を餞けした、面に書かれた文句には校長が曾て恩師野村藤陰先生から戴いた五言絶句と



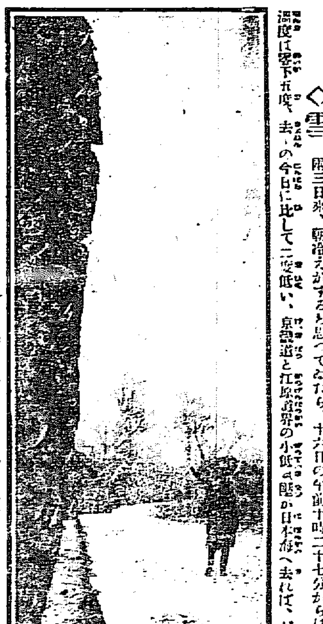
◇大宰春臺先生の座右銘の一節とがあつた前者は『墨子絲の素なるを悲しみ、揚朱路の岐なるに哭す。墨翟千里を謁る、須らく思ふべし步を擧ぐるの時』また後者は『桑木を拗せざれば棟梁と成る能はず、筋脉を勵たざれば壯士となる能はず、肩背を傷けざれば善賈となる能はず、死地を踏まざれば烈士となる能はず。』とあつた

◎飢餓に迫れる芝罘窮民
飲食市場を襲ふ

芝罘にては最近一厘錢の使用を絶對に禁止せるが之れが爲め多數の乞食は施與を受くるも食物を購ふを得ず加ふるに昨今一段厳しくなれる寒氣に飢餓交々迫りて遂に彼等は更に數百の窮民と共に五十又は百餘の集團となりて市中各所の飲食市場を襲ひ飲食物を奪ひ取て之を喰ひ餓鬼道の光景其儘を現出し警察官吏も如何ともする能はず彼等が爲す儘に委せ居れり

◎機械工場燒失
▲損害高約百五十圓

十六日午前六時半頃京城寬勳洞百十八番地表勳院機械工場伊藤伊吉方より出火したるより常備消防隊出動し瓦葺一棟を燒失して同七時頃鎭火したるが同所は舊韓國時代の勳章の製造工場なりと發火の原因は多分表道路を通行人が棄てし煙草の吸殼が軒下の松葉に燃え移りて大事に及びたるものならん損害約百五十圓



◇雪 昨三日來、朝冷えがすると思つてゐたら、十六日の午前十時二十七分からは西北の風が烈な雪を吹き飛ばして、温度は零下五度、去一の今日に比して二度低い、京義道と江原道界の小白嶺が日本海へ去れば、だんだん、暖かくなるだらうとのこと。

◎浮浪者五十餘名を檢擧す
本町署總出にて目覺しき大活動

本年より龍山其他に於て諸工事勃興するを見越して近來內鮮各所より是等の事業に從業する如く裝ひて京城に流れ込む者尠からず是等の多くは資力も職業も無き浮浪人にして毎日各町を徘徊して或は賭博をなし又は賭錢を脅迫し喧嘩を吹き掛けて仲直りといふ名義にて料理屋飲食店を飲み倒し宿屋及び質屋を荒し廻り草鞋錢を强請する等有ゆる惡辣の手段を講ずる者漸次增加する模樣なるより京城本町署にては十六日午前六時を期し新町其他各町に住む是等浮浪者の寢込みを襲擊して所謂一筋を初め內地人五十二名を檢擧し目下本町署に引致して其れぐ取調べ中なりと

◎表戸を蹴破る
遊廓で大亂暴を働く

大阪市北區中島四丁目生れ當時京城住所不定の小原良助（二三）福岡縣三瀦郡大川町生れ京城黃金町二丁目宮崎市次（二三）の兩名は何れも前科附の者なるが兩名は數名の若者と共に三月五日午後十時頃京城新町遊廓元祿樓にて會飲し同夜十二時頃小原は同町金花樓に至り中野太平と云ふ客が登樓し居るを同樓の仲居に問ひたるに仲居は居らざる旨答へたるに小原は一旦引返し宮崎と兩名にて再び同樓に至り『電報々々』と連呼して起したるより同家の者が起き出で戸を開けねば叩き壞すと稱し遂に表戸を蹴破りたる上小原は裏に廻りて裏戸を押し開きて侵入し帳場の李某は其不法を鳴らしたるより同人を亂打し次いで宮崎も侵入して亂暴を働き本町署に引致され取調べの上檢事局に送致されたり

◎資產家の子の罪

大分縣北海部郡丹生村字原生れ當時仁川本町朝日館內止宿池見哲夫（二三）は詐欺取財前科三犯の曲者なるが郷里大分縣にては兄弟共相當の名望ある資產家なるに同人のみは實家の數千圓を浪費し其の果て朝鮮に渡り本年三月四日より同六日迄京城旭町鋪後屋旅館に止宿し宿料金四圓六十錢を踏倒して逃走したるを手初めに同月六日午後七時頃には同町安東病院に忍び入りて金側懷中時計一箇（百五十一圓）を竊取して同夜龍山彌生町お太輪樓に登樓し同樓にて吉田由造と僞名して右の時計を松永菜をして金十圓に入質せしめて遊興費に充當し翌日仁川に逃走し居るを本町署刑事が追跡して逮捕したり

京城高等女學校入學試驗成績發表

◎嬉しい瞳‼悲しい眸‼
高等女學校入學試驗の成績發表

十五日午後三時を期し京城高等女學校本年度入學選拔試驗の成績が發表せられた志願者二百五十四名の中單級より志願したる無試驗入學者二名受驗者二百五十二名中

◆及第入學者百九十一名 ◆落第者は六十一名

であつて最高成績點平均九點最低成績平均七點位であつた幾日幾夜寢る目も合はせず勉强もし氣遣ひもして待つて居つた天下分目の日で有つたから成績發表と同時に喜憂二つに色分けされた樣々の顏が一齊に動き始めた嬉しい瞳、悲しい眸みんな淚ぐんで居る先生の話によると元來入學試驗となると日頃は大變に成績の好い子供が

◆非常に容易な問題や ◆分り切つて居る事を

間違へたりするものであるが殊更に女子には斯うした失敗が多い樣である、それ故に地方から出て來たり內地から渡來した志願者の中には其の學校の成績は大變立派なのにも拘はらず選拔試驗では殆どゼロな人もある全體に京城在住の生徒に比して成績の劣つて居る點なども矢張り場所馴れのして居らぬのと旅に居る樣な心持で落付きの無いのと何方を向いても知らぬ顏の人許りで有るなどと云ふ事が甚く子供の心をあわてさせるものと思はれる

◆志願者の多くは尋常 ◆科六年から來た者

であるから選拔洩れに成つても高等科に入れる餘地が有るし高等科から志願した者は前に一二度志願した者で大抵入學する樣に成つたがそれでも入學の能きぬ樣な人は例外として其他は一回位の入學試驗の選拔に洩れても左程に落膽する事はないとの事である

◎突き倒して見舞

京城黃金町一丁目大和商會店員逸見平吉（二三）は十五日午後三時頃自轉車にて光化門通を疾驅中折柄來合せたる弱雲洞二百二十六番地朴洗鍚（六二）に衝突したるも別に擦過傷もなきより同人より三圓三十錢の見舞料を支給事濟

◎觀世流謠曲大會

觀世流師範田沼大吉氏は今般會名を春風會と命名し其の披露を兼ね春季大會を來る二十一日（祭日）午前十時諸町有樂樓に於て開催する由因に同會員多數及び各會よりも代表者悉く出席す

◎旭扇會の寄附

去る十二日壽館に於て旭扇會主催の下に筑前琵琶彈奏會を催し其揚高五十圓を若松外一名救恤金として京城本町警察署長の手を經て罹災者へ寄贈せり

◎彼岸會と講話

大和町三丁目遞信局官舍にて十七日午後一時彼岸說教中日二十一日は午後一時より大熊鐵鬼の說教ある筈

◎風閣寺の彼岸法會

風閣寺にては來る十八日より二十四日迄初日午後一時より彼岸法會同四時より說教あり二十一日は彼岸中日と弘法大師緣日なれば大施餓鬼執行

懐かしき母校
春は樂しき同窓會

懐かしい母校に別れ、親しい仲の友だちと離れて過ぎ來しいくとせを、同じ學びの道にいそしみし事など思ひ出でゝは、さすがに淡い…卒業期は目前に迫つて來ました、さうして今までの在校生は同窓生となるのでございます、此の機會に各學校の同窓會の模樣を伺つてみることにいたしました。

◎支那方面へ
東洋協會植民專門學校
今年は第八回目
卒業生間の連絡

東洋協會植民專門學校朝鮮分校では今年で第八回目の卒業生を出す事になつてゐる、今年の卒業生は十三名、來る廿二日までに試驗が濟んで

□廿六日頃にその成績の發表がありその成績によつて卒業生の志望する就職先きに交渉を始めるのだといふ、昨年までの分校卒業生は全部で二百二十三名、その內の二十八名が內地へ還り十六名死亡し十二名の就職未定者がある以外の百七十七名はそれぐ

◇各職業に就いてゐる、此の三月の十日に調べたといふ統計を見ると東京の本校出身者を合せて朝鮮內の有職者は總督府六名、稅關九、遞信局四十、地方法院一、土地調査局四十、道廳十四、府郡廳二十三、警察一

□金融組合百四十五、銀行十一、會社二十六、實業十三、未定十二、兵役十三といふ事になる、此處の卒業生は從來悉く地方の金融組合理事に採用されたもので分校出身者なども七十七名、即ち卒業生總數三分の一は金融組合

◇理事として在勤してゐる事になる朝鮮全道の金融組合理事二百三十の內百四十五名を同校出身者で占めてゐるのは特異とすべきものがある本校卒業生と分校卒業生を合せ朝鮮に就職してゐる者は

□三百十四名だ分校が卒業生を多く出したのは開校當時四十年の三十八名明治四十四年の四十四名、大正三年の三十五名、少ない時は本年の十三名の如き大正元年の十五名の如き少數の時もある、何故こんなに不同があるかといふに本校から派遣される生徒なので

◇支那問題などの起つた時は支那方面の志望者が多いが普通の場合には朝鮮志望者が多數を占めるといふ關係から斯くも甚しい增減が數字に現はれるのだ、今年からは京城で採用試驗を行ひ及第したものを東京の本校の一學年に入れる事にしたさうだ

□同校の同窓會は本校と合體してゐるが會誌は東京で發行し分校からは原稿丈を送る事にしてゐる、京城の同窓會幹事は道廳の丁、大村、農商工部の豬俣塚谷洋品店主などで毎月謄寫版刷の

◇印刷物を發行し分校出身者に頒布してゐる、會の事業としては是まで何もやつた事はないが今年は東洋協會の主催で講演會を開く計畫があるさうだ

▲壽座初日

十六日より出演の筈なりし新派劇自然劇團三輪實一行は道具新調のため開演を一日延期し愈々十七日より開演する事となれり初日の藝題は[illegible]女全七場にして主なる役割左の如し▲野川春夫（水谷）▲三島辰八（水野）▲藤坂かるた（藤島）▲中宮（西村）▲北川巡査（乾）▲夫人みき子（司）▲淸子（水谷智惠子）▲[illegible]（三輪）

◎劇藥自殺を企つ

…一日まで流連し同日朝同樓の勘定を濟まし釜山に赴くと稱して出發し十…に大邱署に急報し係官現場に出張し…胃より出血し生命危險なりと（大邱）…まるに至り現…の模樣にては本月…る見込みなりと…時計一個を借り受け之を遊興費十一…五十五錢の質に入れ何外に同人…

十郞、弓削幸太郞、消川光朝、多久和利、渡久地成實、公三郞、淸水潔、杉山繁雄、外人二名二等五十八名…

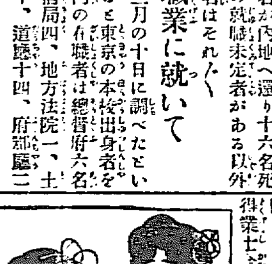
三月十七日 西の風 小雪後晴

肺病良劑 金氏煎

本劑は從來の『クレヲソート』又は『グアヤコール』系統以外の獨特の新製治肺劑にして殺菌有效健胃强壯防腐作用を增し食慾を進め去痰鎭咳を增加し惡寒熱を去り安眠を得せしめ盜汗を防ぎ…核○加答兒○肺尖○肋膜炎○氣管支炎○等に最も良好なる效能あり
○希望者はハガキに申込あれば實效公示の爲無代送藥
日本製藥研究所 東京市下谷區上根岸町

淸き處女の友情
（ニキビが取て急に美人となる）

オヤ〱驚きましたネ、アナタは私と同樣ニキビでお困りでしたが今は痕跡もなくキレイに取れて色が大層白くホントに美人にお成ですネ一體ドウしたのですか『ハイ實は藥學士吉澤巖氏のラスターと云ふ內服藥が大層良いと聞き早速用ひましたらコンナニ成りました元來面にニキビ吹出物オデキを生じ其他ドス黑く膿き斑點のある等は體內胃腸の變化より生ずる一種のトキシンに原因するものなれば內服藥にて治療するを正則とすラスターは此等の皮膚病に良効ある內服藥にして同時に胃腸を整へ身體を健全にす注文は三錢郵券十枚封入して東京根岸御院殿金澤山石堂へ申込む時は直に送藥すべし



祝三千號記念
朝鮮醬油釀造部 [illegible]

祝三千號記念
シンガーミシン會社 大邱支部
分店所在（大邱、慶州、安東、金泉、大田、公州）

祝三千號記念
淸酒、味噌、醬油、日用雜貨 牛蠟並に天產農產物仲買
慶南晉州 西鄕商店
電話一四三番 電略（サイ）又は（サ）

祝三千號記念
全羅北道金堤 金堤軌道株式會社

祝三千號記念
晉州錦町 日鮮人向雜貨商 日比商店

祝三千號記念
三千浦水產會社 兒玉彝郞

祝三千號記念
材木商 小柳材木店 晉州榮町 電話一四六番

祝三千號記念
慶南三千浦 朝鮮勸業株式會社三千浦支店 稻井浦多

廣田一眞儀病氣の處養生不相叶本日午後二時死去致候此段生前辱知諸賢に謹告仕候
三月十六日
長女 廣田フジエ
實弟 香月爲惠
友人一同

國境の事業界

鴨綠江材 ＝石崎商店＝

●鮮滿に於ける活動振り●

滿鮮國境を往來し鴨綠江の齎らし來る上流地方の天產物木材の無限なるを實見する人々は安東縣新義州の經濟的營業が一に此の

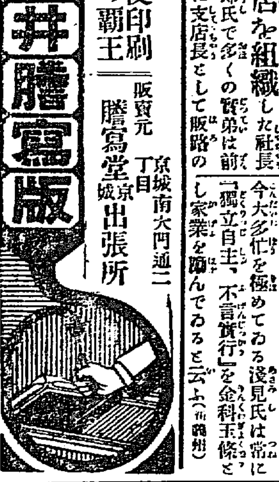
▲巨材の販賣高 の多寡によつて支配されつゝある事を知るであらう毎年解氷期より十月末頃まで流下し來る木材の總積は概算百五十萬尺締内外であるが之れを假りに一尺締を三圓五十錢替へとしても約五百萬圓を下らぬとは採木公司當局者の說である然し今日斯樣に盛大に上流地方の木材を搬出し國境地方の經濟的發展を促進せしめたのは採木公司や新義州營林廠の事業に基づくのは勿論だが安新兩地に於ける民間有力家の奮起により周到綿密な商戰を各地に試み北海道材や亞米利加材等の勁敵を漸次に擊退し東洋の木材界に鴨綠江材の聲價を高め其の信用を樹立さした努力と功績は賞讃に値する近頃安東縣新義州の兩地に於てメキ／＼頭を擡げ來れる材木商中

▲石崎久三郎氏 の經營する石崎商店は木材界の成功者として同地屈指の羽振りである、店主の久三郎氏は岐阜縣の出生で夙に日露戰役後の軍政時代に安東へ乘り込み木材界の前途多事なるを觀取し大倉組の姿顧を得て開業漸次事業を擴張した結果三人の實弟を郷里より招き寄せ一致協力奮闘に亞ぐに奮闘を以てし今日の盛運を開き得たのである、從來は主として朝鮮鐵道及び南滿鐵道に多數の鐵道用枕木其他用材を供給したが確實安價と云ふ點に於て兩鐵道の信用は極めて厚いものらしい其他滿鐵沿線及び朝鮮各都邑に於ける土木建築其他工事用材の供給額は概算

▲年額五十萬圓 に上るの盛況である、氏は數年以來多くの實弟をして各地支店を經營せしめてゐる乃ち次弟次吉氏は京城岡崎町に根據を据て京仁兩地並に京元線地方一帶の取引に當り三弟滿四郎氏は忠北忠州に開店し朝鮮貴族某氏所有に係る有名なる松柏林梅阿山の伐木植林等を經營し巨多の材木を搬出の上建築用材を主とし各鑛山の杭木供給の如き年々十數萬尺締に上り附近の農民等は農閑時之が流筏運材をなしたる賃金により餘澤を蒙むる事は少くないと云ふ、右の梅阿山は面積廣く且つ其地勢上地質上松柏樹の植樹育成は成績頗る良く今後同商店の經營宜しきを得ば一大

▲富源を形作 るであらう尚ほ石崎氏は忠州堤川間の道路施設工事に昨年までに一千圓本年度五百圓六年度に亦五百圓を寄附すると云ふ更に前記の外京義線白馬にも一商店を有し該方面の販賣に敏腕を振ひ其の商圏を擴張してゐる家族本位の會社を組織し鮮滿の木材界に雄飛しやうとは石崎氏一門多年の宿望である本年一月十三日此の宿望は實現され創業十周年を記念し資本金十萬圓全部拂込みの合名會社石崎商店を組織した社長は當主の久三郎氏で多くの實弟は前述の如く各地に支店長として販路の開拓商圏の擴大に腐心し新鋭の店員十名は本支店に於て盛んに活動中である、現に昨年の如き滿鐵納の材積は三萬尺締に垂んとし亦本年も撫順炭坑のみに七萬尺締も供給の契約が出來したと云ふ其他西鮮地方に於ける

▲鑛業用材 は多く同店より供給されてゐるが何れも取引の確實を稱せぬはない歐洲戰亂勃發以來船腹拂底した爲め彼の北海道材は全く鮮滿市場より姿を消したから之れに乘じ大活動の途に出でんとする採木公司に隨伴し石崎商店も頗る緊張した態度で解氷期を待つてゐる（安東縣）



輕便印刷器の霸王　堀井謄寫版
販賣元　京城南大門通二丁目　京城謄寫堂出張所

◎新義州 淺見製材所

●盛んな鴨綠江岸の工場●

日露戰爭終了後新義州安東縣の兩地に於ける鴨綠江材將來の發展に著眼し十年一日の如く奮闘努力以て今日に至りし實業家中新義州淺見製材所の如きは其の尤なるものである、淺見氏は長崎縣に生れ十餘年前渡鮮軍政時代から新義州の木材に興味を有し身自ら製材職工の間に伍し技術上の修練を積んだ事もある其後資金を得て大正元年製材工場を設け爾來獨力奮闘

▲業務を擴張し 世上鴨江材の聲價昂るに從ひ氏も其製品に著々改良を加へ販賣商の激增に連れ數年前より京城、阿城、平壤等に支店を開設し販路の開拓を專らにしてゐる、其の現今の工場は鴨江岸の鐵道線路に沿ひ三千餘坪の堂々たるものでこれに附屬建物を有してゐるが解氷時より結氷期に至る製材期には絶えず上流より莫大の流筏を工場直下の溜池に入り込ましめ之れを片ッ端から捲上機により塲内原木置場に捲上げ軌道にて工場に搬入する工場は六十馬力の動力を有し大形帶鋸一臺外圓鋸立鋸三四臺宛間斷なく運轉平均一日の製材高百尺締内外從來年產額

▲約四萬尺締 四五十萬圓に相當する職工は約六十名製材運送の鐵路は現關及び驛に延長し荷積みの設備等も仲々大仕掛である、解氷期切迫して滿鮮各地の建築工事勃興するに伴ひ諸方面より淺見製材所に來る木材取引の商談引きも切らず同製材所事務主任中上精七氏の如きは昨今大多忙を極めてゐる淺見氏は常に「獨立自主、不言實行」を金科玉條として家業を勵んでゐると云ふ（新義州）

鴨綠江の命航路

●鴨江運輸司所經營●

鮮滿國境鴨綠江流域の二百餘里に亙る鴨綠江の發展を圖り其の住民に多大の便益を與ふる鴨綠江航路經營者鴨江運輸司所は商羽秀吉氏主宰の下に經營してゐるが其の總督府の命令航路となりしは大正三年三月である現在航路の延長は新義州を中心として

▲中江鎭線 は二百二十九哩江界線は百八十五哩の多きに及ぶ船は十八石より八石積みの高瀨卅四十艘並に八噸乃至十五噸の船子百餘艘を江上に泛べ本店は新義州にあり出張所は九箇所代理店は十二箇所に陸上交通路との連絡を取り旅客並に特產物の輸送に努めてゐるが日漸地方人の信用を加へ業務亦發展しつゝある而して本年解氷後は船數も增し航路も延長して從來支那人の跋扈甚しかりし江上運輸界に

▲大革新 を企つべく當局に於ても國境開拓上より見て本航路擴張發達を必要としてゐる尚ほ上流地方諸物價の如き本航開始後約三割方を下落したといふ（新義州）

德富蘆花譯述　探偵異聞　▲定價金二十五錢▲郵税本社持

○巣鴨の奇談○うらおもて○毒藥○雲がくれ○秘密條約○大陰謀○まかつみの七編にして凡て外國探偵小說中の粹を拔き之を譯するに蘆花氏得意の妙文を以てす波瀾萬丈人物出沒の奇一讀魂飛び神飛ぶの思あり蘆花氏の著書中全く色彩を別にしたるものにして亦以て著者の多趣味多方面の筆致を窺ふに足る可し

京城日報社代理部

商況

債券現物特電

十五日東京	前日との比較
東洋拓殖	六〇、〇〇
日韓瓦斯	五二、五〇
朝鮮銀行	五〇、〇〇
朝鮮瓦斯	一一四、三〇
南滿鐵道	一四二、〇〇

東京公債直取引 定特

十五日東京(前日との比較)	
九分利	九五、四〇
五分特	八三、〇〇
一回四分	八二、〇〇
二回四分	九四、七〇
甲五分	[illegible]

深川在米特電

十五日現在高	
朝鮮米	一四四、七五八
臺灣米	一四四、九九九
內地米	二二二、四九九

東京期米特電

十六日前場	
當限	一三、三二
先限	一三、三六
寄付	一三、三二
止め	一三、二〇

大阪株式特電

十六日	拂込	前引	後場
鐘淵紡績	五〇	[illegible]	[illegible]
摂津紡績	五〇	[illegible]	[illegible]
大阪電燈	五〇	[illegible]	[illegible]
京阪電氣	五〇	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	五〇	[illegible]	[illegible]
一瓦斯	五〇	[illegible]	[illegible]
同新	五〇	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	五〇	[illegible]	[illegible]
大阪商船	五〇	[illegible]	[illegible]
日本郵船	五〇	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	五〇	[illegible]	[illegible]
東京新株	五〇	[illegible]	[illegible]
大阪株式	五〇	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

十五日後場	寄付	大引
三月限	一二九、三〇	一二九、三〇
四月限	一二九、三〇	一二九、六〇
五月限	一二九、九〇	一二九、九〇
六月限	一三〇、四〇	一三〇、五〇
七月限	一三一、二〇	一三一、二〇
八月限	一三二、九〇	一三二、九〇

大阪期米特電

十六日前場		
二月限	一二九、三〇	一二九、四〇
三月限	一二九、五〇	一二九、五〇
四月限	一三〇、〇〇	一二九、九〇
五月限	一三〇、六〇	一三〇、五〇
六月限	一三一、三〇	一三一、四〇
七月限	一三三、〇〇	一三三、一〇

十六日前場 當限寄付	一三、二九
中限寄付	一三、四一
先限寄付	一三、七一
止め	

朝鮮物產特電

釜山改良	三、〇	釜山大豆
馬山改良	[illegible]	群山大豆
木浦改良	[illegible]	元山別大
同特改	[illegible]	鎭南浦大豆
群山改良	[illegible]	城津大豆
仁川改良	[illegible]	長淵大粒
釜山上白	[illegible]	寧城大豆
釜山中白	[illegible]	仁川小豆
全南上白	[illegible]	宣川大豆
仁川上白	[illegible]	平壤大豆
仁川中白	[illegible]	群山大豆
仁川並白	[illegible]	木浦大豆

雜報

◎株式更に強健　この株界は一高一低の小變ありしも底意頗る強硬の氣を含みつゝありしが今

◎主力株船株始め其他の諸株も一齊上向歩調をなしたり昨今買氣の退嬰せる折柄一氣に甚しき上は望まれずとするも此機に乘じ尚幾分の昂進あるべき模樣なり

◎關東製粉市況　[illegible]

◎藥品類は居据り　[illegible]　輸入減少　[illegible]

◎干瓢依然強硬　[illegible]

◎此上更に一段の高値　膽貫を壓さへつゝ　先行に懸念無し　[illegible]

◎罐詰類の昨今　大罐は一層在荷拂底　大罐五十八錢　小罐上物一箱　松茸　[illegible]

◎昆布は益氣強し　來る新昆布の採取　悲觀に傾けり　[illegible]

◎鰹節は上物高　價格騰貴の趨向　[illegible]

◎紡績糸賣行良好　漸落歩調を辿り　荷動き良好　[illegible]

◎仁川在庫穀物　十五日現在の仁川穀物協會在庫品左の如し

玄米	一〇五二二	白米	五二四五
大豆	二九七五五	小豆	一五
小麥	三〇五〇	荏子	
粟	九〇八四	粉米	
黍	一五	胡麻	七六八
蕎麥	六〇	糯米	三六

◎生果類好況　[illegible]

下關相場

[illegible]

確實　迅速　マ　仁川米豆取引所仲買人　電話

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

利　仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話

仁川期米

▲十六日前場 七錢高の入電　保合不動

[illegible]

市場零聞

▲前場動かず　[illegible]

▲前場の手振り　[illegible]

▲未だ人氣刺戟　依然強硬　[illegible]

▲程の影響　[illegible]

▲今買對○十貫　[illegible]

▲丸り大商內　[illegible]

▲相場は直り乎　[illegible]

▲戻り依然賣募　[illegible]

▲氣候不順　[illegible]

田中　電話

仁川米豆取引所

十六日の五月限

賣買取組高

三月限	一萬石
四月限	五千二百石
五月限	五萬八千石

[illegible]

北濱たより

▲大阪商船株　[illegible]

▲大阪鐵工株　[illegible]

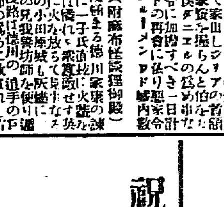
演藝案內

大正館　[illegible]

壽館　[illegible]

黃金館　電話二六三七　[illegible]

壽座　本町　電話五七八　[illegible]



專賣特許第九〇四八　大正靴　桑皮精製新案實用　[illegible]

紙　諸官衙會社銀行學校　[illegible]

麻裏　桑皮　[illegible]

大阪市中之島七丁目　桑皮合名店　振替大阪二七八四六番

大阪堂島米穀取引所仲買　今延商店

致富之栞……商報……送呈

祝三千號記念

營業科目　木材賣買　木材委托賣買　製材　木材輸送　木材保管

朝鮮新義州　新義州木材株式會社　同運送部　同出張所

祝三千號記念　安東縣市場通九丁目　貿易商精米業　東洋行　振替口座大連一一三八番

祝三千號記念　支店城內中富街政記公司中　株式會社安東貯蓄銀行

祝三千號記念　朝鮮銀行新義州出張所

祝三千號記念　朝鮮銀行安東縣出張所

祝三千號記念　平安農工銀行新義州支店　三好豐藏

祝三千號記念　株式會社安東銀行　支店撫順　本溪湖　出張所安東縣右堂前街

去る六日朝現金卅圓を懐中し內地に歸ると稱して家出し八重垣町に赴き大阪屋に登樓し娼妓小梅を揚げて十　[illegible]　の小梅は便所に赴き浴室に歸へり見れば今まで眠り居たる五郎が虫の息にて苦悶し居れるより大に驚き直ちに　[illegible]　るもの〻如く親兄弟に宛て遺書も認めあり因みに同人は劇藥のため十八度を引起し六十二度の熱　[illegible]

越後大評定

第百六十一席 早川貞水口演

酒井雅樂頭の呼出し

此とき四代將軍家綱公、御病氣を押して家『イヤ其儀に就ては酒井雅樂が申すには、舘林右馬頭は下賤腹、甲府宰相綱豊は、父綱茂が亂心いたして切腹せし故に、諸侯一般の尊敬薄し、然るに血腥き今日慾の者を迎ふるは世の泰平心許なきに依り、有栖川幸仁親王聰明英智にして陛下御近親なれば、此方を迎へ度、只今の所謂望力量此人を措いて五代の君はなかるべしと申せし故に、宜きに計へと申し付けたり 宜『委細承知仕りまして御座る、就いては甚だ恐れ入る儀なれど、今日酒井雅樂頭に尋ねぬべき儀これ有り、御病中恐懼の至りに耐へませぬが、天下の一大事、帝鑑の間まで出御願はしく存じまする』と申し上げ早速酒井大老を御呼出しに相成りました、上州前橋の城主・大老職十五萬石酒井雅樂頭忠清に於ては、帝鑑の間に御召しと聞き心中穩かならず、何事ならんと直樣まかり出づると、正面には御簾を垂れて四代將軍家綱公御著座、一段下つて紀州家、水戸家、會津、舘林、甲府、高松の諸侯御控へになる一體將軍御前に於ては、直ぐ御側へ進んで直接御言葉を伺ふのが大老職の役目で御坐いますから、今日も例の通り酒井大老、御簾の下へ罷越して御沙汰を承はらんと存じ、頭を垂れて徐々と進むを備中守正俊聲高く 正『アイヤ酒井雅樂頭殿御不審の筋これあり、申開き相立つ迄は、其處にて御控へ召され』雅樂頭びつくり其まゝ著座いたす途端に進み出たのは若年寄堀田備中守正俊、酒井大老の前へピタツと著座、襟を正して 正『君命に依り不審の三箇條御尋ねに及ぶ、一々御答へあれ 忠『ハ、ハツ、謹んで承はりまする 正『訊問中言葉を更まる左樣心得られよ 忠『ハ、ハアー』頭を下げる 正『第一不審は將軍御世嗣君に就き、舘林右馬頭を下賤腹と識り甲府宰相綱豊公を父綱茂公自心切腹いたしたる故に、諸侯の尊敬薄しと申し上げ京地の有栖川幸仁親王を關東へ呼び迎へ五代の將軍と仰がんとせしは正に是れ德川の天下横領せんとする結構、歷然北條高時の二の舞をなさんの心底と相見えたり、何と此の儀言ひ譯ありや、大老恐る〜頭を上げ 忠『御不審の儀御答へ仕る抑々德川二代將軍秀忠公の御代までは十八國主を天下の客臣と稱し參勤交代の節は、將軍家には東海道よりする諸侯には白山御殿まで御迎へあつて御叮嚀の御會釋、奧羽二箇國の諸侯に對しては、小菅御殿御休息所に入らせられて慇懃の御饗應ありたり、然るに三代將軍家光公の御代より十八國主は德川の家來たるべしと仰せ渡されたるを以て、一統の國主不平を鳴し内々天下を窺ふあり、之に加ふるに關ケ原滅後の落武者、大阪落城後の浪人等孰れも其虚に乘せんとして窺ひ居る、未だ血腥き天和の今日、五代の將軍と仰ぎ奉るは、宜く〜其御人を選ばざる可からず之に依て有栖川幸仁親王を迎へ奉らんと存じました次第、親王は聰明英智に渡らせられ陛下第一の御近親この君ならば、諸國の大小名悉く之を敬ひ服し、天下益々平和たること疑ひなきを以て、此儀一應伺ひ奉りしまでにて、未だ京地への手入は仕らず、北條の二の舞などゝの御不審、忠清近頃甚だ以て迷惑至極に存じ奉る、辯舌滔々、水の流るゝが如く流石大老の大役、四邊を拂つて見えました。

お聞きなさい

▲耐寒登山の英人● 十二日の午前京都の都ホテルへ兄妹二人の英國人が泊つたこの二人は名をテイ、デール、エチショーと呼むで二人とも有名な登山好であつて日本に滯在の數年間山といふ山には殆んど足跡を印した處はないこの二人は二月二十八日に耐寒登山の目的で大和から紀州熊野へかけての險山を跋渉して來たのだがその間大概は野宿をして空腹になると昆布を喰つて水を飲むで僅かに飢を凌いで旅行をするのださうな

▲死人に添臥の信者● 長野縣北佐久郡岩村田町の時計修繕業齋藤巳之吉(五九)は女房よし娘ふじとの三人暮しで一家熱心な天理教信者であつたが主人巳之吉はフトした病氣が原因で去月二十日に死亡した處が女房と娘の二人は迷信の結果天理さまの水を飲ますれば蘇生するものと思ひ込み毎日死人の口から水を注ぎ死體が既に腐敗して惡臭を放つまで三週間も二人は葬式も出さうとせず添臥をして居たことが知れて大騷ぎとなつた

三月十八日九星 舊二月十五日甲寅 本命三碧東開佛滅

▲三碧● 保守主義の事有日務附で新事見合 坤の方は吉婚姻東▲四綠● 願潮の日轉居旅行入門名弘求職命件婚姻井戸掘節皆吉▲五黄● 懷え情のたらぬ事有日新事手控蓄事は吉御散財を防がべし▲六白● ふさ置にかゝらんさす注意新事控新事は吉貸借の口入辭せぬがよし▲七赤● 平運の日物の下拵へを爲すは吉新事手控新事開業は妨なし▲八白● 行違いを生じ安き日新事手控新事は吉買物に用心せらるべし▲九紫● 大吉届く日轉居開業入學名弘尋開求職縁組特許出願等萬吉▲一白● めでたき日轉居開業出漁名弘建築求職婚禮船乘等萬吉▲二黒● 不審な事有り新事手控萬事は古保證消介等を禁ず

泌尿器病 入院隨意(診療夜九時迄)
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病 專門
永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話一四九一番

皮徽科 入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一七一三番)
日曜祭日午後二時迄

博士創製の毛生へ藥
田中醫學博士方劑
前東京帝國大學醫科大學皮膚科教授田中醫學博士が進歩せる現代の要求に應じ多年研究の結果新たに創製せられた毛生藥フミナインは禿頭病、ぬけ毛、ふけ毛、脱毛、禿、かもち禿、眉毛、生へ際、其他身體中あるべき所に毛なきに用ひて皮膚に害なく奇妙に毛を生やし脱毛を止めますから一般に非常な歡迎を受けて居ります直接ハガキで御申込になると法並に藥療に關するくわしい説明書を封書で進呈す
東京藥院 東京芝愛宕町二の一 電話芝一八七四番

無害で一番よくそまる
東京、大阪、各衛生試驗所試驗濟
しらが赤毛ぞめ
安全コクオー
特長 まけず かぶれず はげず てまいらず よごれず まつくろに つやよく そまる
各博覽會金銀牌受領
發賣 大阪高橋盛大堂

健胃散本舗 藥種賣藥 山田藥局 藥劑師 山田重雄 大邱大和町電話四五七

見本提供AB二種を振替又は郵券代用十八錢にて送附す
ルーテサックは衞生の必要品なり當分の內廣告の爲め左の特價にて提供すA十個四十錢廿個七十錢〃七個六十錢二十個一圓十錢形一個二十五錢女用一個八十錢(郵税十二錢)開封郵税無料郵券代用一割增 京城金町三丁目山川文珠堂 電話二九四九番 振替京城三武二七番

たんをきりせきをしづめ
龍角散
ぜんそくに特効あり

今です!
たんせきぜんそくの流行期は。凡ての人が警戒すべき氣候激變の時は。今です!!
この時期には極めて强壯な人でも風邪を引きがちですが夫がたんせきとなりぜんそくとなると決して油斷はなりません、
油斷は大敵
わけてたんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵し遂には肺炎、肋膜炎等に變症し易いから輕症の内に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が
最も肝要です
又數年の難症に惱む人も怠らず服用あれば氣分爽快となり病根は日ならずして[illegible]するに至る

主治効能
△たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
△ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
△せき頻に出で夜半オチオチ眠れぬ人
△流行感冒より起るたんせきの人
△肺病にて常に力なきせきの出る人
△たん臭氣を帶び時々血の交る人
△小兒百日せき又はしはせきの人
△音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに頗る効あり又常に音聲を使用する人に用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

二日分 十錢 四日分 二十錢 一週間分 三十錢 二週間分 五十錢 一月分 一圓 (郵送料 二錢 二錢 二錢 四錢 四錢)
取次▲全國各藥店にあり▲賣切の節は本舗へ御注文を乞ふ
本舗 東京神田區豊島町 藥劑師 藤井得三郎 電話浪花一四二四 振替口座東京九一

洋藥暴騰
輸入全く杜絶せる今日
專ら國產品を原料とせる
婦人藥 中將湯は
ますます聲價と實行とを高めて
遠く海外の諸國にまで輸出され
期せずして國產奬勵の實を
擧げつゝあり
▼餘寒嚴しき昨今冷込婦人病の豫防に御婦人は誰方も
中將湯を召上れ!

主効
●子宮病 ●婦人神經 ●熱高ぶり ●内膜炎 ●こしけ ●逆上頭痛 ●産前産後 ●難產流産 ●月經滯り
●血の道 ●氣ふさぎ ●夜眠れず ●膣加答兒 ●下腹痛み ●腰足冷込 ●つはり ●月經痛み ●血ぶとり

定價
二日分 二十錢
四日分 卅五錢
一週分 六十錢
三週分 一圓六十錢
五週分 二圓五十錢
▲加減劑あり容體詳しく御申込みあれ加減劑定價
一週分 七十五錢
四週分 二圓五十錢

中將湯 本舗

□中將湯は世界到處の藥店にあり
□市內は無料にて配達す

東京日本橋通四丁目 津村順天堂本店 電話本局[illegible] 振替口座[illegible]
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南[illegible] 振替口座[illegible]

汽車
[illegible]

京城日報　第二版

十七日朝刊
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五拾錢　郵税共一ヶ月金五拾五錢　三ヶ月金壹圓七拾錢　▲郵券代用二割増

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲報欄內一行金壹圓貳拾錢　▲指定一行二號活字は五號活字同樣

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　谷口政太郎
發行所　太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用長二二四番　營業用長三六番　振替貯金口座京城三〇〇番

蘇峯雜話

中島生記

三、獨逸の軍國主義

世の中に空論ほど恐ろしきものはない。何となれば、空論は實行の魁であるからである。如何なる驚天動地の大事業も、其根底は必ず人の思想である。恰かも千萬馬力の水力電氣も、其源は山奥の木の葉を潜る渦水が、流れ流れて來るやうに、例へば佛蘭西大革命の如きも、敢て唯一の原因とは言はねども「其の主なる一は、瑞西生れの漂泊文士ルーソーの民約論に負ふところが多大であつたことは、革命の歴史を研究すればするほど、明白である。

獨逸の軍國主義の如きも、ビスマークに依つて實行せられ、徹底せられたけれども、假にビスマークをして英國に出でしむれば、彼が如き働きを爲し得るかと云ふに、決して出來ぬのである。若しビスマーク流の政治を英國に布かんとするに於ては、ビスマークの首が十や十五あつても足らず。革命が一度や二度で落付くことではあるまい。ビスマークの仕事が出來たのは、普魯西の國民に、又は廣く言へば獨逸人に、之に共鳴する要素素質があつたからであると云はなければならぬ。日本の維新大改革の如きも、如何に西郷、木戸大久保が、元祿年間に於て回天の功を奏せんとするも、全く狂人視せられて相手にする者はなからう。さなくば、由井正雪か、山縣大貳の覆轍を踏むの外はあるまい。日本外史や日本政記の力は此れで分明である。人間は實に正直なものである。如何なる惡黨でも、其惡行を正認せしむる丈けの理由を發見せずしては、之を成し遂ぐることは出來ぬ。一時本能の發作によりてすることは別として、苟くも順序あり、次第あり、首尾貫通するの仕事をするには、良心の嘉賞、理性の贊助を得なくては出來ぬ。然るに之を與ふるものは、世人が往々輕蔑するところの空論である。哲學者、豫言者、夢想者、文學者、種々の名はあるけれども、凡そ人の思想に接觸し、之に衝動を與へ刺戟を與へるものほど、油斷のならぬものはない。即ち[illegible]の如きも、敢て恐く[illegible]はぬが、半ばは哲學者論客の力である。上は哲學者のフイヒテより、下は歴史家ツライチユケに至るまで、彼等は何れも、今日の獨逸人心を致養し、獨逸をして、軍國主義の本塲たらしむべく、其の準備をなしたのである。如何に英國が、急に獨逸流の軍國主義を模擬せんとするも、獨逸ほどの徹底力を有せぬ所以は、烏が鵜の眞似をするのも同樣の譯である。即ち英國[illegible]は其の素質がないからである。即ち英國には上はベンザムより下はスペンセルに至るまで、殆んど個人萬能主義、實利主義を以て、英人の思想を支配して居るからである。乃ち經國の要は、先づ、人心を新たにするといふ事、人心を一にするといふ事、人心に重きを置くといふ事を忘れてはならぬのである。

序ながら玆に一言するであらう。世間では、獨逸の軍國主義の皷吹者として、十把一紮にツライチユケ、ニツチエ、或はベルンハルデイ等と云ふけれども、彼等の議論は、必ずしも同一の模型より打出したものと云ふことは出來ぬ。

ニツチエは一種の空想家であつて、彼の晩年は、全く發狂者となつた。彼の眼中には、獨逸國の運命なざは蚊の股ほどの價値もなかつた。唯だ彼は、世界は一種の超越的人物によりて、統治せらるべきことを唱道したのである。所謂彼が超人主義とは此である。唯だ彼の獨逸人に與へたる至大の感化は、生物はダアウインの說の如く、單に生存競爭をなすにあらずして、權力競爭をなすものである。即ち活きるか死ぬるかの問題にあらずして、他を支配するか、支配せらるゝかの問題である。更に立入て言へば、[illegible]の[illegible]は、生物固有の本能であるといふことである。彼の此の原則よりすれば、獨逸が其の充實したる力を、外に發揮し歐洲の覇權を握らんとするも、別に不思議ではない。生存のためと云へば、食ふ丈け食ひ、生きる丈け生きれば、それで足るけれども。權力のためと云へば、何處までも限際はない。

ツライチユケは、全く此れとは趣を異にして居る。ニツチエは、國家など云ふものが、眼中に無いからして、素より愛國心のあるべき筈はない。併し、ツライチユケは熱心なる愛國者である。彼の思想の根底は、人類にあらずして、國家に在りと謂ふも差支ない。彼は個人と國家を全く別物に看へて居る。彼の意見を手短かに言へば。個人相互の關係は斷愛である。即ち基督山上の垂訓が、人類道義の原則である。國家の關係は權力である。弱肉強食が即ち立國の原則である。此の原則よりすれば國家の名によつては、如何なる事でも出來ぬ事はない。必要と强力の前には、何人も、何物も、抵抗を許さないのである。彼は更に一歩を進めて、如上の原則からして、國民は如何なる場合にも、一所に靜止することは出來ぬ。進むか、退くか、隆昌になるか、衰亡するか、二者其一を選ばねばならぬと言て居る。彼は此の如き思想を以て、十九世紀の中半より其の終期に近づくまで、獨逸の人心を指導したのである。

ベルンハルデイは軍人の子であつて彼も亦騎兵の將軍として、名ある一人である。彼の著書は、要するに、以上の思想を、當今の時務に應用して、之を普及したるのに過ぎぬ。然かし、其力も亦等閑視することは出來ぬ。何故なれば俗受けがしたからである。詰り俗人の思想を支配したからである。

要するに、獨逸の軍國主義は、フレデリツク大王以來、幾多の星霜を經て出で來たもので、其のものが善きにせよ、惡きにせよ、決して一夜造りの普請ではない。其の根底は、獨逸敎化の上に存して居る。獨逸人思想の上に立つて居る。

印度の治安

在東京　一記者

▲近頃支那海及び新嘉坡諸水面に於て、我帝國商船の英國軍艦の爲めに臨檢さるゝもの頻々、就中英國官憲、我天洋丸乘客たる印度人九名を逮捕し去りたりといふが如きは、甚だ人の疑訝を招く所なり、何故に英國人が斯くまで神經過敏となりたるや、未だ其詳細なる消息を知るを得ざれども、其形跡に就て之を推測するときは、蓋し印度革命派が所在獨逸人と相通謀して、危險なる計畫を企てつゝありと爲し、其を取締るが爲めに彼が如き手段を取るものと認めらる。

▲夫れ革命叛亂を企るものあるとは統治者より之を見れば最も憂慮すべき事にして、其を取締るに於て油斷あるべからず、併ながら今日の印度は、果して斯る野心家陰謀者流をして、覬覦せしむるが如く不安の狀態に在りや、吾人は然りとは信ずる能はざるなり、歐洲大戰役開始以來、出征印度兵は忠勇無雙と稱す、又英國人は、印度の領土內の靜穩無事今日の如くなるはなしとて、其の統治の好成績を誇りつゝあるにあらずや、且滿期後特に留任したる印度太守ハルデング卿は、愈よ此三月を以て其の職を去り、其の後任は軍事及び植民政務に經驗あるチエルムスフオード卿と決定したり、初め英國人中印度に懸念するものあるや、印度太守は軍人中の長老を以てすべし、威望第一の大政治家を促すべしと論ずるもの多かりしに拘はらず、新進の一貴族を以て其地位に當らしむるを見るも、其情形を想望し得べきものあり、印度の文政武備にして完全なる限り、假令若干の不逞の徒あるも、亦其心を苦むるを要せざるや言を待たざるなり。

▲尤も、過日聯合軍ダルダネルス海峽を撤退し、獨墺軍獨り巴爾幹に跋扈するや、一部印度人中には甚だ其心を動かすものあり、就中回敎徒の歐洲戰局を觀望し、萬一にも中歐の戰鬪にて、獨逸軍勝利を占むるが如きをあらば、彼等亦何等かの計畫を企つべしと傳ふるものあり、此種の報道は最も英國の心胸を刺戟するものあるや論を俟たずと雖も、中歐の戰鬪に就ては、英佛軍必勝の確信を有すると稱す、眼前ヴエルダンの大戰鬪は、今猶ほ防備的爭鬪にして、獨軍にして適當の地歩を占め得るにあらざれば、要塞に對する本攻擊を開始する能はず、昨今傳ふるところのものは、則ち此陣地爭奪の戰鬪に外ならずして、攻擊軍の强襲猛擊の犧牲夥多しきものあり、假令獨軍二三方面の戰に利を占むるも、其損失を被むること深且大なるや論なし、萬一佛軍此要塞を放棄するが如きことありとも、獨軍更に進取するの實力を存するや否や、覺束なしと云ふ有樣なり、則ちヴエルダンの一戰は敵味方の勝敗の分るゝところにして、佛蘭西の聯合したる英軍の力を致す可きところ亦實に此にあり、此戰場に於て敵軍を破却するの計を盡さずして、躊躇猶豫するが如きは、斷じて聯合軍の取る可き所の策にあらず、且此戰鬪に於て獨逸軍を破碎し得ば百事此に定まる可く印度の事復た言ふに足らざるなり、英國人たるもの其本末前後を知らざる可らず。

西伯利の製鐵業

我邦との需供關係

露國商工新聞は二月八日の紙上に於て西比利亞の製鐵業に對し大要左の意味の說を掲載せり

西比利亞は最近に至るまで未だ自己の製鐵業を有するの氣運に向はず、其需要は多くウラル地方より供給せられ又は沿海州を經て海外よりの輸入に俟ちたり、今日以前に於て斯の如き狀態を現出したるは素より當然の事と言はざる可からざるは其地が人口の稀薄なる、交通の不便なる又其地方に於て要する鐵の品種が多種多樣なる割合に數量に於て甚だ少額なる等に由るものにして就中其處に盛なる製鐵業の起る能はざりし原因を爲したるものと見る可し、西比利亞の地が鐵鑛に富むことは世人周知の事實なれば之に着目して事業を起したるもの從來少からざりしが孰れも蹉跌し遂に成功したるものなきは此の前項の理由に因る彼の有名なるニコラエウス製鐵所の如き西比利亞の首都とも稱す可きイルクーツク市の附近にあり[illegible]の好適なると又鐵鑛の良好なるの故を以て起業家の著目する[illegible]たり數十年來數次人事を更へて經營[illegible]間西比利亞鐵道工事の如き其成功に利便を與ふ可き事ありたるに關らず、今日に於ても未だ確實に其業を成就したりと言ふを得ざるは吾人の甚だ遺憾とする所なり然るに亞爾泰製鐵所は其起業前者に比して遙かに後年なるに關らず、近來著しく其歩を進め今や漸く西部西比利亞に於ける需要を充し得むとするの域に達しつゝあるを以て西部西比利亞に關しては吾人稍々意を安んずるを得可し(未完)

一句づゝ　(五の日十の日發吟)

○春淺し貝掘る島を見る且　虎耳
○春淺き餞のやさし繭玉なげて　鳥堂
臥龍窟にて
春淺き小鳥來る[illegible]一時　目地

日報俳壇

雉子郎選

雪解

雪解の船で屆きし謝狀かな　青奴
雪解の橋を搖行く筏かな　同
牛市や人出少なき雪解かな　義朗
雪解に日高き障子はさきけり　韮城
人住まぬ納小屋の雪解かな　よしみ
參陵の大臣の馬車や雪解道　田打夫
雪解の夜道長うして友言はず　つゝむ
馬車の燈や雪解の道を七形に　康知
馬解空の大氣心地よ木立哉　露風
雪解けて故郷を出る日なりけり　孤山
讀み得ざる碑文や雪名殘　浦南

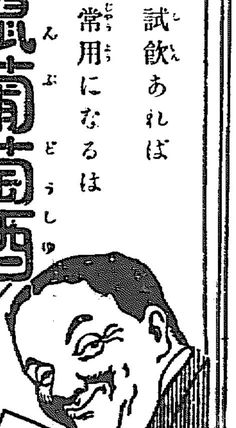
▲後場は愈硬
[illegible]

▲(一)…[illegible]

高値　十四圓四十六錢
安値　十四圓十二錢
出來高　一萬六千五十石
五月限　五萬四千三百五十石

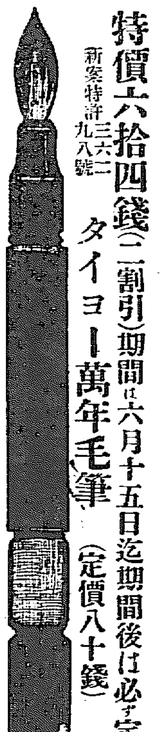
●困つた出前持　滋賀縣野洲郡河面村生れ當時京城永樂町二丁目[illegible]を窃取して所持し居る所を本町署に檢擧されたり

何人でも一度御試飲あれば必ず……一生涯御常用になるは
美味滋養　蜂印香竄葡萄酒
「の生命と眞價なり」
凡そ常用者の忘るべからざる欣快は
■毎朝の一杯は……精神を爽にし元氣を增す
■毎晩の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く
斯くしてますく健康の人となる!!
東京日本橋本町　近藤利兵衛



電氣工學講習錄
新學期開始會員募集
本會講習錄の聲價隆々斯界に定評あり電氣技術者立身せんとせば本會に入會せよ本科は三四級通俗科は初學者及五六級程度規則見本二錢切手送れ　東京小石川林町七拾番地　電氣工學講習會　振替二六八五〇番

特價六拾四錢(二割引)期間は六月十五日迄期間後は必ず定價に復す
新案特許三六二九八號　タイヨー萬年毛筆　(定價八十錢)



本品は從來有り觸れたるものと異り頗る苦心慘憺の結果實に精巧無比の製作品なれば如何なる文字も如何なる紙質と雖も自由に書き得るは勿論構造堅牢にして永く使用に耐へ穗首は取換自在なれば實用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁を入れば端書三百枚迄は書き得れば携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ

右は今般全國發賣元タイヨー商會こと朝鮮全道一手販賣の分權所有者小野黎三郎氏より其全權の委託を受け販賣を開始するに就ては此際披露こして前記の特價二割引にて御需めに應じ候間至急御購求あれ

發賣元　京城太平通壹丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

子ル
セル
洋卆
帶側
半衿
ショール
並に
みきりの品　半衿　帶側
三月二十日より五日間
賣出し
三越呉服店
京城本町

株式名義書換停止
來ル四月一日ヨリ第九回定時株主總會終了當日迄株式名義書換停止致候
朝鮮皮革株式會社

京城永樂町一丁目(藥局前)　電話六一二番
內科　小兒科　村上病院
院長　醫學士　村上龍藏
副院長　熊本醫學士　松下三雄

京城漢江通
TRADE MARK
陸軍御用馬毛蒔
內外各種ブラシ製造販賣所
電話一一四

新刊書御案內
書名　著者　定價
◎生物學講話　丘淺次郎
◎進化原論　谷津外
◎物理學計算理論講義　近藤...
◎無門關講義　釋宗活
◎文字の訓練　井、後藤
◎人生の裏面　村上浪六
◎信念の發揮　高島米峰
◎人を法と買わせる法　佐藤信太郎
◎陸海軍人物史論　安井滄溟
◎獨逸興國か滅亡か　[illegible]
◎運元錄　相馬御風
◎心の叫　松崎天民
◎キップリング短篇小說　馬場恒吾譯
◎名金探險小說　青木緑園
◎續名金
◎伊達騷動　貞玉
◎女のうらおもて　前田有美
◎世界名士の癖　榎本秋村
◎女學校生の花嫁さん　奥の細見男
◎野の[illegible]　黑岩涙香
◎夢想生[illegible]　米窓譯
◎黃金の[illegible]　鈴木田鶴
◎獨逸怪艦エムデンの奮戰　ミユツケ　關屋
大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番

◎商船臨檢事件と英の辯明

交渉經過發表＝今後尚交渉を重ぬべし＝物議に對する英政府の陳謝

英艦臨檢事件に就き帝國政府は英國政府に對し交渉を開始せるが十五日不取敢外務省より日英兩國間の交渉經過を發表せり

近時英國軍艦が東亞方面に於て行ひたる帝國商船臨檢事件に就ては關係商船の數既に約十隻に上り著しく中外の視聽を惹くに至りたるが天洋丸事件に就ては當時直ちに外務大臣より在東京英國大使に交渉する所あり最近同大使より英國政府の辯明書を外務大臣に提出するに至れり右の説明中には英國政府に於て目下詳細の報告を調製しつゝある事を述べ不取敢本件の爲め日本に於て物議を生じたるに對し頗る遺憾の意を表する旨を述べ居れり從つて該問題に就ては今後尚兩國政府間に交渉を重ぬる事となるべく而して天洋丸以外の商船臨檢問題に就ても亦同じく英國政府に對し交渉を爲しつゝあり元來臨檢は國際法上交戰國軍艦として適法の行爲なり故に帝國軍艦も亦臨檢捜索の權を行使しつゝあり現に各國商船に對して之れを行ひ英國商船に對しても既に數回之れを行ひたり從つて相當の理由を有する場合に於て他國軍艦が右の權利を遂行せんとするに對し帝國政府は法律上該權利の有無を爭はんとするものに非ず而して一方英艦が頻りに商船の臨檢を行ふの餘儀なきに至りたる事由に就ては次の如き事實は考慮に値すべきものなりとす即ち上海に碇泊中なる敵國商船に關し近來賣買の協議行はれ居る趣にて若し其の結果敵國船舶にして外洋に出づるが如き場合あらば之を機として同港に避難中の他の敵船は或は變裝して脱出を試むるが如き事なしと云ふ能はざるのみならず或は他國の國旗を濫用する事なしとせず若し敵船にして斯かる手段を執らば該敵船は武裝を整へて獨逸艦「エムデン」と同樣の行動を採るべきは疑なき處にして斯くの如きは聯合軍側に於て最も注意を要する處なり又昨年末西貢沖にて佛艦の爲めに拿捕せられ目下審理中なる日本汽船伊豫丸の如き現に獨逸領事同船に潜伏し密かに盤谷に渡航せんと企てたる事實あり英國軍艦の臨檢は右の如き事情に基くものなりと云ふと雖も帝國政府は本件に關しては飽迄帝國臣民の利益の擁護に努むべきは固より言ふを俟たざる處なり要するに此の際本件の成行に關しては極めて冷靜に考慮判斷を要すべしと（東京特電）

◎露軍戰線砲撃奏効

露國砲兵隊はイルクスト地方に於て多量の軍需品を輸送する列車に大打撃を與へたり又ドメスス湖とケムソン湖との間に於て露軍は敵の戰線を砲撃して成功せり（露都電報）

◎匪徒掠奪を恣にす

總勢一萬を算す＝富豪の避難

某所著電に曰く、山東匪徒の中心は革命黨及び宗社黨にて昨今に至り馬賊土民等の響應する者甚だ多く今や總勢一萬を數ふべく而して彼等は專ら軍隊との衝突を避け掠奪を逞ふしつゝあり之が爲め同地方の富豪にて大連及び上海方面に避難する者甚だ多し（東京特電）

◎經濟會議委員

協商國側より我國に對し巴里に於て開催さるゝ聯合經濟同盟會に委員派遣方を慫慂し來り政府にては承諾の旨回答したるは既電の如くなるが其の後右委員を人選中のところ貴族院議員若槻禮次郎氏を派遣する事に内定したり（東京電報）

◎政務總監伺候

山縣政務總監は十六日午前八時十五分東京驛發葉山御用邸に伺候し天皇皇后兩陛下の御機嫌を奉伺せり（東京特電）

◎昨年中の獸疫數

……斃死若くは撲殺せり、今其病名別統計を示せば左の如し

（牛疫、口蹄疫、流行性感冒（牛）……）［以下判讀不能］

◎兒玉伯東京發

上京中の總督府總務局長兒玉秀雄伯は十六日午後四時東京驛發歸任の途に就けり（東京特電）

◎陸接貿易

昨年中輸出入額

大正四年中に於ける陸接國境貿易は同地方の發展並に時局の影響に依り大正三年に比すれば輸出入共夥からざる增加を見たり、即ち輸出は豆滿江沿岸五十五萬餘圓、鴨綠江沿岸十七萬七千餘圓、合計七十二萬八千餘圓を算し輸入は豆滿江沿岸二十六萬八千餘圓、鴨綠江沿岸二十四萬六千圓、合計五十一萬四千餘圓にして貿易の權衡は二十一萬四千餘圓の出超を示せり今之れを大正三年中に比するに輸出は六十四萬七千餘圓にて八萬一千餘圓を、輸入は十八萬六千餘圓にして三十二萬八千餘圓を何れも增加を數へ又た貿易總品價に於て殆んど十一萬圓の增進を呈せり四年中の輸出入重要品を三年と對比せば如左

▲輸出（單位圓）

品名	大正四年	大正三年
白米	三三、二五二圓	二五、七〇八圓
玉蜀黍	三、三二三	八、二一二
大豆	五八、一六五	三三、一一七
乾[illegible]	二二、二七二	一七、五二〇
石油	五〇、六四〇	四二、八七五
生金巾	八、一九八	六、〇八四
曬金巾	三、四八三	四、七八〇
柞[illegible]	四、四三一	六、五七二
朝鮮紙	五、八六四	四、二九三
紙[illegible]草	一八、二七一	二六、三五四
生牛	三六二、八六〇	三四九、六二一
生馬	六、八一六	五、三六九
牛皮	一九、五一六	一〇、五四一
合計	七二八、二四四	六四七、〇三五

▲輸入（單位圓）

品名	大正四年	大正三年
粟	一四、五八七	九四、六九九
小豆	四、六四六	八、〇八五
[illegible]	四、〇二六	四、一七四
小[illegible]粉	九、七八六	七、四一四
麴子	九、九二八	六、〇一八
[illegible]	三三、四八六	二九、〇八三
[illegible]	二四、二七九	三七、七四一
大豆油	一三、四二〇	一一、〇二五
石油	八、六六五	六、八八八
生金巾	八、七三四	四、九六〇
染金巾	三、五五六	四、八二五
生煙草	八、〇一一	五、四四七
木材	七三、〇八四	一二一、〇八三
板[illegible]	一一、二三三	八、〇五三
豆粕	五、〇二五	四、五七八
合計	五一四、六八三	四八六、〇六八

◎博多灣の築港

中村精七郎氏の投資

八十年來の懸案たる福岡博多灣の築港は鎭南浦の海運業者中村精七郎氏愈々三百萬圓を投じ株式組織とし自ら社長となりて之を經營す可く近く證據金拂込を了し次第著手す可しと

◎鎭海開廳期

鎭海は愈々來る四月一日より開廳されれ同時に竹敷永興の兩防備隊は撤廢さるゝ筈なるが陸軍要塞は依然存置さるべし而して鎭海開廳式は多分五月の海軍記念日頃なるべしと

◎咸南の經濟界

▲元山 客月中に於ける元山金融狀況につき聞く所に依れば綿布類は南洋及び支那方面に於ては歐州方面よりの輸入困難なるが爲め日本産綿布類の同方面に對する輸出增加し一方外國品の輸入減却と共に内地需要增加は侮るべからざる勢を現したる結果朝鮮向の製織は殆ど閑却せらるゝに至り爲めに内地相場の奔騰となり元山當業者の先物約定を減ずるもの續出したるも産地の手持筋又容易に商談に應ぜざりしものゝ如く當用品も亦比較的移入多からず且つ舊正月用品の出荷前月中に一段落を告げたる明太は各地よりの注文殆ど杜絶するに至り相場九圓臺の暴落の體にて出荷不足に終れり米穀は一方内地の米況は月末に至り期米稍持直りの氣味を變じたりと雖も月初より引續き相場引立たざるのみならず當方面の賣行惡しき爲南西鮮よりの粟米の移入俄かに減じ大豆は米價の軟調につれ依然内地注文筋は手控の有樣にて賣行捗々しからず移出額は殆んど言ふに足らざる狀態にて且恰も舊正月中なりしを以て市況更に活氣を呈せず從つて資金の需要緩漫金融は極めて閑散裡に經過したり

▲咸興 昨年末來農作物の出廻り比較的好調なりしかば地方金融の緩和せし事尠からず從つて購買力の增進は漸騰移入雜貨綿布類の賣行を好況ならしめたりと雖も市況概して引立たずして例年の閑散期節を迎ふるに至れり斯る故に金融界は別段著しき放資材料もなく移出米其他の荷替及び食鹽の買入れ等に要する小口資金の需要あるのみにて農銀支店の預金は漸次增加を示し客月末殘高は三十萬圓臺に達せり此の趨勢を以てせば早晩第二回金利の引下げを行はざるべからざるべしと觀測せられつゝあり

▲西湖津 本年漁期に當り沿岸各地に於ける明太漁業の盛況に基き久しく悲觀の極度に陷りたる地方經濟界の形勢は一變し至つて好況を呈したるの觀あり一方米、大豆、牛皮、燕麥等の移出絶えず各市場とも旺盛にして且移入品にありても石油の需要及び麻の下押の外一般物價は依然……納税資金の需要起りて多少の調和を見たる如し金利は前月に比し一分方……

◎清會線（四）

清津貿易と鐵道（續）

將來に於ける清會鐵道發展の趨勢をトせんとせば先づ之が貿易將來の進勢を三時期に區別するを至當とせむ即ち現在より清會鐵道完成迄を第一期、爾後吉會鐵道完成迄を第二期及び吉會鐵道完成後を第三期とすべし、今其各期の貿易年額及び貨物噸數を清津港に於て如何なる程度に進展し行くべきやについて豫測計算せらるゝものを試みに記せば、

第一期末即ち清會線が開通すべき大正七年度に於て一般貿易の輸移出にては過去四年間に於ける一箇年平均增加額噸當り四十七圓として二萬二千百二十二圓なりしより算出すれば二十一萬四千九百三十六圓四千五百七十三噸となり同輸移入に於ては同上一箇年間の平均增加額が噸當百二十圓と算出して十八萬二千二百四十九圓なりしよりすれば、二百十八萬百三十圓一萬八千百六十七噸となり。通過貿易の移輸出に於ては同上一箇年間の平均增加額噸當り四十七圓として八千八百三十八圓なりしに因れば、八萬一千二百四十九圓、千七百二十九噸となり、同輸移入に於ては同上一箇年間に於ける平均增加額噸當り百二十圓と見て十二萬六千八十一圓なりしより算出すれば、百六十二萬四百三圓、一萬三千五百三十三噸となり、又沿岸貿易の移出にありては間島粟の如く、增減の差甚だしく平均の徴し難きものあれば平年に於ける出廻の狀況を基礎とし噸當り四十七圓とし同上一箇年間に於ける平均增加額七萬八千五百三十圓として算出する時は、九十八萬二千四百三十七圓、二十萬九百二十噸となり、移入に於ては同上四年間に於ける平均增加額噸當り百二十圓とし一萬一千百四十三圓とすれば七十九萬九千八百七十圓、六千六百六十五噸の增加となり、以上三種の貿易に於て輸移出二十七萬八千六百二十二圓、二萬七千二百二十二噸、輸移入四百六十五萬四百三圓、三萬八千三百六十五噸輸移出入總計に於て五百八十七萬九千二十五圓、六萬五千五百八十七噸の大貿易を見るに至る可き計算なり。之れを鐵道の開通せざる以前と比較すれば、以て多大の差を認め得可し、清會線完成の第一期は即ち大正七年の春を以て來るべく、此時より北鮮及び國境一圓の大富源は著々開發せられ海陸連絡の全きを得て遺憾なく、春風駘蕩として山河爲に霽ふの時運に際會すべし

■川村中將閲歷

川村中將の郷里は鹿兒島縣日置郡阿多村字花瀨十番戸にて鹿兒島市を距る二里の郊外にあり、赫々たる武勳は正四位勳二等功三級にても知らるべく本年正に六十歳なりと

明治八年六月十二日陸軍幼年學校へ入校▲同十年九月四日陸軍士官學校へ入校▲同十二年十二月二十二日陸軍士官學校卒業▲同十三年五月八日東京鎭臺歩兵少尉、東京鎭臺歩兵第一聯隊附▲同十六年……歩兵中尉……▲明治二十……歩兵大尉……▲明治二十六年……▲同二十七八年戰役の功により功四級金鵄勳章……▲明治二十九年……歩兵少佐……▲同三十年……歩兵中佐……▲明治三十三年……▲同三十四年……歩兵大佐……▲明治三十六年……▲同三十七八年戰役の功により功三級金鵄勳章……▲明治三十九年四月一日……陸軍少將……▲同四十二年十一月……旅團長……▲同四十四年……▲大正元年十一月二十……陸軍中將……第九師團長……▲同年十二月二十六日……▲同三年四月十五日朝鮮守備の爲七尾港出發……▲同十七日仁川港上陸［以下細字判讀困難］

要減退せりと雖も更に魚油の消費增加し加ふるに咸興の軍營設置決定に依り近々兵舍建築に著手の筈なるが爲め一般之れが期待は各地方共人氣を引立て漸く見越移入を試むるものあるに至りて次第に好況を示し居れり（元山）

◎載寧輕鐵近く起工

三菱合資會社經營の載寧鐵山にては採掘鑛石及び材料運搬の爲め黃海道載寧郡銀山面内上洞より同郡三支面江洞に至る十哩十九鎖餘の專用輕便鐵道敷設認可申請中の處此程認可されたれば近々中より工事に著手すべし

◎秋谷籌夫氏重態

朝鮮新聞社長秋谷籌夫氏は數日來病氣の爲め七川病院入院療養中なるが發熱甚だ高く昨今重態に在りと

人事消息

▲秋田壽彭氏（公州慈惠醫院長） 十五日朝入京浦尾旅館へ

▲今井武人氏（慶尙農工銀行支配人） 十五日入京山本旅館へ

▲矢原近次郎氏（東洋生命京城支店長） 東上中の處此程歸京

▲古城管堂氏（京城銀行重役） 東上中の處十六日夜南大門著歸京

▲吉田鍵吉氏（代議士） 十六日朝入京山本旅館へ

▲吉川岩喜氏（平壤[illegible]所藥務課長） 十六日夕入京山本旅館へ

告別の辭

エム、シー、ハリス

今此地を去らんとするに際し、余の監理に屬する傳道事業及び信徒に對し宣教師特には茲に朝鮮總督府に對し數へ難き多くの深切につきて感謝の意を表す。吾人が他の教會及び傳道事業と共に今日享有しつゝある隆昌は政府の當局者に負ふ所頗る大にして、吾人の生命財産に對し今日ある完全なる保護は當局者が吾人の爲めに企てたる總ての事業に助力を與へられたるに歸すべし。

余は過去十二年の星霜を朝鮮に過し、弘く此半島内に旅行して各方面に起りし變化と進歩とを目睹したり。其進歩の著き實に滿足なる次第なるが、中にも余の最も喜ぶ所は日鮮人の關係の改善即ちこれなり。余は日鮮人が日に親密となり、相當の時日を經ば一團となりて日本政府の正大公明なる支配の下に幸福なる生活を送るに至るを疑はず。二者の相合して幸福を享有するは吾人の最も熱誠に祈る所なる也。

寺内伯閣下は實に偉大なる治者なる事を證せられたり。其爲遂げられたる改革、其企てられたる大事業及び一般人民の受けつゝある繁榮は伯の偉大なる人格と仁惠なる心とを示すもの、何人も嘆美せざるを得ず。

これにつきてこゝに特記せざるべからざるは優秀なる各部各道の長官及び之を助くる吏員各位なり。此等の人々は才能手腕共に高く、職務に熱心なる敬服の他なし。高等法院長渡邊暢氏は其正義と仁愛と深きとの故に總ての人の敬愛する所たり、朝鮮の法廷は純潔にして、其役員は人民の信頼する所なる也。

内務部長官宇佐美勝夫氏は高き讃辭を受けて可なり、宣教師は氏の大度にして寛容なると宗教上の問題をよく理解し、彼等の仕事に對し示さるゝ同情とを感謝しつゝあり。小松綠氏は余と多年の友にして、在職最も長く、在留外人間に其名聲高く、伊藤公と共に初めて此地に來り、此度量雅懷海の如き大政事家に陶冶されて人に對して常に禮節あり、事務を處理するに驚くべく迅にして然も頗る巧なり。吾人の氏に負ふ所頗る大なる也。

學務局長關屋貞三郎氏は吾人と特別なる感謝を捧ぐべきの人。官公立學校の發展と一般教育の進歩とは、氏の才能と熱誠とを反映するもの、私立學校、殊に宗教學校及び此等と政府との關係を調和するは氏の最も苦心する所なるが、氏は常に深切に公平にして此等の困難を解くに當り常に公平ならんことを期せらる。思ふに此等の困難は相當の時を經ば解決せられて何人も滿足するに至らん。

余の嘆賞措く能はざるは朝鮮駐在の軍隊に對し、將校も士卒も一に其職に盡して、他意あるなく、嘗て人民と衝突したる事なく、其行動は武士らしくして人民に對しては深切也。吾人が其保護に負ふ所極めて多大なるものあり。警官及び憲兵に對する感想亦これに同じ。

朝鮮は近く大に變化したり、遠からぬ將來に於て、嘗て此地に駐剳せし支那公使の豫言したる如く『東亞の花園』となるならん。余の希望は歸り來り、餘生の一部を此地に送るに在り、此地は余の故郷の如くなればなり。今暫く去るに當りて總ての余の友に向ていふ『さよなら』

●本日總督府公文添付

……業務は貸付金五百五十圓同收五百八十圓に過ぎず▲倭館 舊正月に相當……窮狀を見ず組合の……萬餘圓の徴收……今尚一般農民の經濟を惹起しつゝ……▲慶山 舊正月に際……比し約半數に減じ大豆……千四百六……十円にして前月の三分の一……

御待兼の種子物著荷

△白馬鈴薯 上廣島種 百斤に付 三圓五十錢以上
△赤馬鈴薯 上廣島種 百斤に付 三圓以上
△赤馬鈴薯 特長崎種 百斤に付 三圓以上
△赤馬鈴薯 一二等長崎種 百斤に付 二圓五十錢以上
△甘藷 上廣島種 百斤に付 二圓四十錢以上
△原氏四十日甘藷 百斤に付 二圓二十錢以上
▲其他桐、林檎、梨、苗、茄子、胡瓜苗等の御注文に應ず
△赤芽芋 上伊豫種 百斤に付 三圓七十錢以上
△個芋 上丹波種 百斤に付 一圓三十錢以上
△長芋 上等 百斤に付 一圓以上
△百合根 上大和種 百斤に付 十八圓以上
△生姜 上長崎種 百斤に付 四圓五十錢以上

右御得意樣の御注文に依り例年よりも多數内地本場特産地より取寄如何程の御注文にも可應候間多少共御用命願上候價格は特別勉強致可く代金は振替貯金にて御申越被下度候

向後追々生果野菜の出廻期に相向ひ本年も懇切確實に取扱候間乞御愛顧家各位には不相變御出荷願上候

内外生果 海産物 苗木種子物 委託問屋
京城南大門市場 電話二四一六番
佐々江商店
電略（ササエ）又は（ま） 振替京城二六〇六番

登錄商標 SUPERIOR QUALITY REGISTERED
春の帽子には―
輕快あるキャップ（鳥打帽子） ソフト中折 御見様用の流行帽子！
日ノ出向鳥印帽子は常に―「流行界の覇王たり」
各地有名なる帽子雜貨店にて商標御注意の上御購求願上候
製造元 東京 吉安商店

移轉御披露
弊店儀開店日猶淺きにも不拘舊舗狹隘を告げ左記へ移轉仕候此光榮ある業務の擴張は一に顧客諸賢の御高庇に外ならず厚く感謝仕候と共に一層奮勵仕候間舊に倍し御引立の程奉冀上候聊か移轉御披露の印として三月十八、十九、廿日の三日間一割引にて御願仕候間陸續御來店賜り度候
京城本町一丁目
大阪屋號書店
電話二〇八六番 振替京城二五七三番
本店東京 支店大連、旅順、鐵嶺、釜山

果樹、山林、庭樹各種苗木販賣 平安攻玉園
弊園は多年の經驗を以て育成したる各種優良なる苗木數百萬本あり、其の種類の正確、發育の良なるは他に比類なかるべし
外に持製肥料、害蟲驅除器、噴霧器、袋類、製造器等、西鮮に於ける一手販賣をなせり、御希望の方に攻玉誌を進呈す
[illegible]

豚百五頭、馬四十二頭、合計一萬一千三百八十二頭なりしか其内快癒せしは牛九千十三頭にして其他は何れも……
（牛）皮疽及（馬）鼻疽、豚疫……

方安値を唱へ貯藏米の減少と相俟つて米價の移出不振に終れり其他明太……為め緊縮じたる前月の金融は本月に入り需要の減少と共に頗る緩漫幾分價不味に據る取引減少と物價の弄騰とにより回收捗々しからず組合貸の多し一般金融は前月來引續き緩漫な持續せり其爲め地税及桑苗代金に納も拘らず之が出廻り激增せざるものあるは必ずしも現物拂底と而已斷じ難し是れ一昨年に於ける農穫の餘澤……じ商況頗る不振米豆の如きも出廻めて影なく慶山驛より移出せし數量は玄米五千五百五十叺にして前月に比すれば四百餘叺の増加なり業者は孰れも遊金多く……を引下げたる模樣あり前年の同期に……

京阪合併大相撲

＝特派員發電＝

十六日午後七時大阪にて

▲四大關を總舐にせる東京方の大元氣

前日來の大敗に憤慨の土地最負

四日目は前日の大阪方の大敗が土地最負の反抗心を强めしためか引續き大入にて正午客止となれり

△四日目の勝負

○印は東京方

勝　負　勝　負

小若島休　駒○泉　紅○薬川　殿り
明○　莵山　千○葉崎　日出山
常の花○鳴門岩　四○國洋　朝風
駒ケ嶽預　梅○川　琴ケ浦○鶴ケ嶽
相生○藪島　源氏山○大砲
初嵐○玉の川　宮木山○稻の穂
大○達○紫雲龍　大○鳴門○時ケ嶽
緋縅○朝○緑　大嵐痛分小常陸
栃木山○朝千鳥　大○の川○大門
千舟川○龍ケ崎
大○蛇潟　玉櫻
黒○瀬川　小染川
朝○潮　有若
兩國　加古川
浦の濱　大錦
西○の海　西の森

△中入後

鳳　車休國見崎
朝日潟　宇都宮
宮城山○大泉　黒緘預四○海波
寒玉子○矢
龜鶴山預對○馬洋
九州山　松の音
大○錦時の矢　太刀山○朝日松

右の内■時ケ嶽に大鳴門はバッタリ右四ツに渡るや否や時内掛に行くを鳴門體を預けて浴びせかくれば時バッタリ後へ倒る■大嵐に小常陸は嵐敵の出ハナを廻り込み透かさず突張れば小常又突張り嵐再三叩きしも利あらず互ひに突き合ふ内小常陸鼻血を出して痛み分

■玉櫻に大蛇潟　は突合ひ大蛇の突き進むを玉殘しつゝ下を潜りて足取りに行きしも大蛇突除け右を差し寄倒して勝■千舟川に龍ケ崎は龍の突張るを千舟撥いて左四ツに渡り龍の差手を推いて寄り進み龍が土俵際に殘さんとするを右足を掬んで掛け投げ極まり千舟の勝

五日目の好取組

大蛇潟に時の矢　對馬洋に大錦　西の海に加古川

■小染川に黒瀬川　は小染立上りさま左を差して一氣に寄切らんとするを黒瀨右手に敵の差手を捲き込み土俵際に廻り込みつゝ打つたる小手投極まり黒瀨の勝■有若に朝潮は一寸突き合ひ朝敵の左右何れかを突張り込まんとするを有嫌つて突張れば朝サラバと反對に攻勢を執つて突進み突き出して勝

■加古川に兩國　は加古立上りさま右を差して足早に寄れば兩左手に加古の差手を推いて小手投を打たんとするを加古外掛けに防ぎそのまゝ切り返さんとしたるが兩ウンと堪へて反對に左足を内掛けに掬み凭れ込んで兩の勝

■大錦に浦の濱　はバッタリ左四ツに渡るや浦右手を敵の首に巻きつけ强引に吊り進むを錦外掛けに防ぎ土俵を廻りて殘さんとしたるが浦勝は此處ぞと體を預けて寄切り浦の勝

■西の森に西の海　は左四つ西寄り進み小手投げを打ちて西の勝

△中入後

■宇都宮に朝日潟　は朝日立上りさま宇都の右手を手繰りて廻り込みその慌てるところを透かさず押切つて勝

■對馬洋に龜鶴山　はバッタリ左四つに渡るや龜鶴が勢ひ込んで寄進むを對馬大きく上手投を打ちしに同體に流れ軍扇は對馬に揚りしも物言ひつきて九預かり

■松の音に九州山　はガッキと左四つに渡るや九猛然寄り進み松が土俵際に右手を九の首に巻いて打棄らんとするを差手を筈に變へて押切り九州の勝■時の矢に大錦は錦二本差寄倒して錦の勝■朝日松に太刀山は朝日の突かくる出ハナを太刀右にイナシてポンと叩けば朝日はノメツて四ツ這ひとなり太刀の勝

△五日目の取組

東京方	大阪方
琴ケ浦	朝日潟
玉の川	●莵山
明●常の花	鳴門岩●
源氏山	鶴ケ嶽
宇●都宮	宮木山●
大の川●	駒ケ嶽
四●海波	大●砲
九●州山	大●達
龍●ケ崎	鳳●車
小常陸	玉●櫻
兩國	初嵐
	大泉
大蛇潟	時の矢
栃木山	西の森
浦の濱	松の音
大錦	千舟川
對馬洋	大錦
朝潮	朝日松
西の海	加古川
太刀山	小染川

東京方	大阪方
駒●泉	殿り
梅●川	日●出山
紅●薬川	時●ケ嶽
寒玉子	海山
敷島	朝千鳥
朝緑	大嵐
宮●城山	龜鶴山
稻の●穂	有●若
黒●瀬川	緋縅
大●鳴門	響●矢
紫雲龍	大門

●危篤に陷れる川村將軍

▲三十餘年間の軍隊生活

眞の軍人＝井口軍司令官談

川村師團長が福岡の病院に行つたのは今年の一月で其時迄は多少の衰弱があつたとは言へ今日危篤に陷つたといふことを聞かうとは思ひも寄らなかつた

□師團長は　我輩と同年の明治十二年に少尉に補せられたが我輩は士官學校第二期で二月に少尉と爲つてる師團長は第三期で十二月に少尉に爲つた許りで日淸役の以前か教官になつた師團長は確か一度士官學校の教官になつた許りで日淸役の以前から今日迄二十餘年間

□軍隊生活　許りして來た人で眞の軍人と稱すべき履歴の人だ然るに我輩は又軍人生活三十五六年の間數年軍隊生活をした許りで他の三十餘年を參謀本部や陸軍大學と云ふ樣な處許りを廻つて來たので一つ懸け違つて居たので同一箇所に任官したのは昨年我輩が朝鮮に來任してから今日迄の短時日に過ぎない

□性質謹嚴　責任を重んじ本職に忠實な人で年尙も尙今日の事ある程でも無かつたのは甚だ殘念である本職の隙間々々には碁を嗜み又頗る强かつたらしく能く千代本あたりで開かれる碁會などに出席してゐたと云ふことだ

第九師團長　川村中將

▲平康の要塞攻撃演習

病を押した元氣＝岡本師團參謀長談

明治二十年頃我々の士官學校時代に其後一度も閣下は敎官をしてゐられたが其後一度も閣下の部下として

□勤務した　事が無かつたが昨年二月現職に補せられると同時に親しく事務の統率に隨ふ事になつたとは言ふもの、閣下が出張で無い時は予が出張すると云ふ有樣で勤務の爲めに軒を同じうしたと云ふのは僅に百日にも足らなかつたらうと思ふ

□今更乍ら　其餘りに短かゝつた事が殘念に堪へぬ閣下は丁度日本陸軍の過度期とも言ふべき時代に在つて學校では佛蘭西式の敎育を受け其後獨逸に留學して居でになる隨つて獨佛兩國語に堪能であつた思慮綿密な方で部下の一身上の事など非常によく氣を配られ困苦に陷らぬ樣にしてやりになり例へば我々が

□行届いた　書を持つて行つ……

たりすると尙其れ以上に研究して萬手落無きを期すと云ふ遣り方であつた閣下には非常な負けぬ氣の處があつた昨年の陸軍記念日の北漢山登行などもよく其性格を語つてゐるが更に昨年十月京元線平康附近で築城された要塞攻撃の演習をやつた時など遣休み

□夜起出て　坑道を掘鑿して行くと云ふは次第に要塞に接近して行く演習に仲々我なでも晝はよく寢られないしするから暮れてから責めて十二時頃迄でも眠り度いと思つてると閣下は當時リウマチスで痛む腰を怪しげに曲げ乍ら作業地の視察をやつたり批評したりしてゐられると云ふ風であつた

●暗夜敵の斥候に遭遇し

自若として一騎を殪す

神尾將軍自ら狀を聞いて褒詞を與ふ

金鵄勳章を賜つた石川一水氏を永登浦に訪ふ

日獨戰爭靑島攻圍軍に參加して名譽の金鵄勳章功七級を拜領した光榮ある從軍者石川一水氏を京仁線永登浦驛の寓居に十六日往訪した生憎同氏は外出不在中で熱血湧き返る實戰談を聽くことが出來なかつた、其れで同氏の令室並に知已の人々より耳にしたことを二三摘記し此の光榮ある同氏に敬意を表することゝする

折角御訪問下さつたに主人の外出中で洵にお生憎樣で御坐います、妾も別に詳細しい實戰談を聞いてゐませんでしたが、何んでも官報で主人が金鵄勳章を戴くやうになつたといふ事が發表された相で昵懇のお友達の方が來られ隨分

戰爭談に花を咲

せてゐました、其談話の中に『俺は丁度出征の際に決死の覺悟であつた、出征する際に病氣に罹つてゐたので同隊の將校からも一時加療して後から出征するが宜からうと勸められたけれど僕は其れを俟てなかつた、併し山東省の一角に上陸して見れば案外氣樂なもので病氣も何處へやら消えて終つた』といふ事である尙同氏が暗夜斥候として谷偵中敵の斥候騎兵三騎に出會した。其際豪氣者の同氏は『好き敵御坐んなれ』と直ちに發射して二騎迄殪し殘り

の一騎を取逃がしたのが千載の恨事であつた、併か[し]此事を耳にされた神尾將軍が自分をお呼びになつて

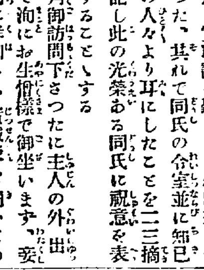
賞詞を下さつた

のは是亦忘るべからざる光榮であれど發表になつた上でないと大きな口も利かれないと言つて謙遜し氏は『……』といふ事の話しもありましただけ

凱旋後も決して自分の戰功談を話さなかつた

が果して這回の金鵄勳章が事實を證明してゐる、尙同氏は熊本縣出身で明治四十二年熊本縣師範學校を卒業後小學校に奉職し渡鮮後は暫く京城に居住してゐる人々の談片に『石

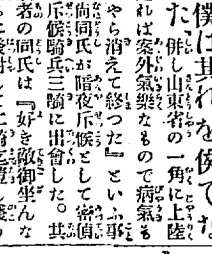
川君は磊落の男で物に一向頓著しない、併かし大の負けず嫌ひで豪膽なものだ、彼の男ならば何れ相當の働き振りをして凱旋して歸つて來るに違ひないと期待してゐたが果して實現された』と言ふ評が



豫備歩兵上等兵　石川一水氏

異口同音に噂さ

された其れから同氏に滑稽談が一つある、出征中或夕露營宿舍で野風呂に這入つた時のことである尤も風呂と言つても半ば壞れかつた桶を土中に埋めてある手輕なものである、大男の同氏が湯桶に這入ると何うした機みか嵌めてあつた箍が壞れて湯槽が破れて上加減の溫湯が悉く流れて無くなつた是れには同氏も失敗したと友達に語つてゐた相である、次に愈々總



窓飾り（８）

何うして店に客を呼ぶ乎

▽塚谷洋品店＝廣さ三間半の大きな窓いショウヰンドー一ぱいに『第一回新荷着』の夏帽子を吊るして、中央には大きな

▽蛙を　一匹躍らし、黒幕の背景に白い紙の雨を降らした趣向である、此の店で一番感心するのはショウヰンドの丈が素敵に高くて店の内部全體が非常に明るい事と、また店の入口に當る窓の一角を扇子形に斜に外に開いた趣向とである、此窓角をにせずして

▽直角　にせずして……

表に廣く開いた處は三中井吳服店の窓にも見るが窓の奥行が深いだけそれだけ充分の餘裕が出來て鳥渡の雨宿り位ゐは能きさうである斯くの如く店頭を一種の雜踏の避難所とする本町通りの店としては非常に有利な事であると思ふ、また此の店は洋風の店頭なるにも拘らず內地人向きに極めて

▽入口　を廣くして居る、これも非常によいとである、入口は何うしても廣い程が好いと思ふ又入口の足場が漆喰

▽景氣　を添へて居るのとが落合ふ所でお隣は三越の窓飾りが名を記した看板がなくそれに店頭には店の〳〵巧みに揭げられ深夜戸を閉した後でさへ硝子戸の內幕に店の名を廣告した

▽手腕　は偉いと思ふ、併し惜むべきは此店の窓硝子は毎時も水蒸氣で曇つて居ることである、何は措いても硝子窓だけは熱心に拭ふべきである、能ふ限りピカ〳〵きれいなのがお客を惹く所以である

●第二爆彈事件は無根

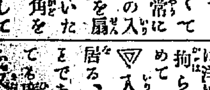
某大官狙撃の爲某辯護士が製造彈を三萬圓に買取りたる事發覺し第二の爆彈事件として其筋に於て嚴探中なる事は既報の通りなるが右は某辯護士が密告料を得る爲め故らに吹聽せる無根の事實なる事判明せり（東京電）

●吸殼から出火　三月十五日午後九時十五分頃京城光熙町一丁目五十番地中森根方より出火常備消防出動藁葺一棟を半燒したるのみにて同二十五分鎭火す原因は附近の鮮童數名遊戲中同町柳用植の四男柳壽萬（一二）が吸ひたる煙草の吸殼が傍らの枯松葉に燃え移りたるものなりと

●阿片を所持す　京城西小門町居住支那人劉元義（三二）は三月十一日阿片三包を自宅に所藏し居れるを本町署の巡査に認められ引致さる

●護國寺彼岸會　旭町三丁目の護國寺にては十八日より二十四日迄毎夜七時より彼岸法要を修行十八、二十一、二十三、二十四の四日間說教あり尙十八日（舊二月十五日）は大聖釋尊大涅槃會に付き終日部恩謝徳法要十九日は宗祖第六百九十五回降誕の聖日に付午後一時より法話あり

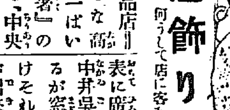
●廣江商會自祝宴　廣江商會にては最近日々の紙卷煙草製造高五百萬本を記錄するに至りしを以て自祝の爲め市內新聞記者團を招待し十五日白水にて盛宴を張りたりと



滋養強壯は　ヨッグルト　京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇四番　滋養と健康の母は　荒井の牛乳

製造工場京城麻浦　王覇の石灰　□肥料用　□建築用　□工業用　□消毒用　□壁化用　セメント　佐官材料一式　問屋　長谷川商店　電話三八三

銀牌受領始政五年記念共進會

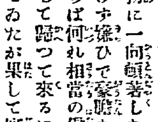


京城春川間乘合自働車　片道賃金四圓　（い）京城發…午前七時　○春川發…午後二時　京城水標橋五十番　京春自働車商會　電話二三八

第一　滿鮮　漬物味噌問屋　嶋屋本店　京城岡崎町

醫療理化學器械輸入製造　度量衡器販賣（義手足）特許卸商　京城大和商會　京城黃金町二丁目　電話五八九番

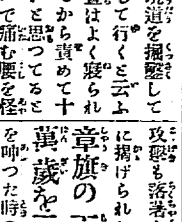
本年の流行品澤山取揃中候　ネル　セル　子ル　洋傘　三越吳服店　京城本町



眼鏡專門　各種レンズ　金銀赤金……製作販賣　京城黃金町二丁目　振替京城一二二九　宮川大學堂

三越に限るとの御高評を蒙れる

堅牢にして優美なる高價品御希望の方は京都本場製一手販賣元小倉佛具店へ御註文を乞ふ　京城本町二丁目七七番地（花月樓向ひ）　小倉佛具店　電話一五七一番



おかーさん、ぼくこの味噌がだい好きよ　味噌なするがの富士の山より高評の　製造元　遠藤廣吉商店（電話九八〇番）

▲營業案内▼

呼吸器散　呼吸器丸　タンセキ改良劑　本劑は最新高貴の特效藥を配伍せる特効劑で以て、如何に重き喘息病にても一週間程にて全く鎭め苦しき咳を和らげ安眠の效を奏す　かゝる人に偉効あり　■息苦しく胸痛む人　■咳出で眠られぬ人　■たんに血の交る人　■聲の漏れ出でざる人　■のんど腫れ痛む人　■たんせき切れ難き人　十錢、二十錢、四十五錢　本舖　大阪東京　丹平商會藥房　全國到る處に販賣す

賣發　大美代　富士商會　大阪……

瀬戸皮膚科外科醫院　旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士　瀬戸潔　診察夜九時まで（電話二四九八番）

醇良清酒　和か松　若松商會酒造場　精米部　大邱東門町　電話……

酒煙草きらいになる薬　禁酒丸　禁煙液　どんな酒呑みでも害なく安心なる藥　大澤博士の禁酒禁煙論進呈　其他名士の推賞…郵券貳錢送れば……　本舖　大阪市…森田商店

千生瓢（156）

須藤南翠作　筒井年峰畫

誘惑（二）

正勝は逐一に聽き訖つて、暫し默然として考へに耽つたが、莞爾として面を擡げた。

『丹羽殿は御恩人おざる。御見舞の料ども相調へて、我等を問候せしめらるゝ事、當然の御情誼おざりませう。』『使者謹んで承知仕る』

『おゝ參つておくりやるか。其は重疊。さらば何事も心任せに』

秀吉は一切を擧げて彦右衛門に委ねた。是れは彦右衛門の人物が、能く丹羽長秀を說破する資格を具へてゐると、確に信じたからであつた。

この彦右衛門正勝は、小六と稱して、美濃の齋藤を浪人し、野武士の頭領となつてゐた時、秀吉の献策に依つて織田家に召し抱へられ、遂に侍大將に擧げたのである。元龜元年の夏、越前攻の時より、正勝常に秀吉の手に附けられ、伯耆南條の戰ひに由々しき功名して、天正十一年の春、播州龍野の城主となり、從五位下修理大夫に任官したのであるが、秀吉は昔の好みに任せて、今も彦右衛門の名を呼ぶのである。

正勝は越前の丹羽に使ひして、懇ろに上洛を促したのであつたが、當時長秀は全く病ひに冒されて、到底も上洛思ひも寄らぬ事を惱めたので

『御心靜かに御養生めされ、少しにても御快氣の上は、急ぎ大阪へお出向き下されたい。正勝重ねて御迎へに參るでおざらう』と固く後日を約して、大阪へ歸つて來た。

天正十二年の正月、北畠左中將信雄は安土城に上つて、三法師の後見として賀を受けた。遠近の大名は、或は自身に、或は使者に、來つて歳旦の賀詞を呈さゞる者はなかつた。秀吉も大阪を發して、大津まで赴いたまゝ、俄かに安土行を中止して、其まゝ大阪へ踵を還した。

此事間もなく安土城へ聞えると、信雄は切齒をなして憤つた。

『憎き猿奴が擧動ぢやよ。吾が父故右大臣殿の取立てに依つて、草履摑みの下賤より大名の數に入り、個々武運に協うて、大々名と經上つたが、誰が爲と心得るぞ、越前の均に功に依つて、四位の宰相となり、武威盛んなるに慢じて、主をも蔑にすること、言語同斷、奇怪千萬ぢや。左樣に我が儘を振舞ふに於ては、吾等諸侯に命を下し、軍を起して其罪を責めてくれう』

烈火の如くになつて、今にも軍令を下し兼ねぬ氣色であつた。誰あつて秀吉が此の振舞をば、眉さする者はなかつたが、淺智短才の信雄の嚇怒には、流石に默從する者もなかつた。乃ち北畠が家の四老職、岡田長門守重孝、津田玄蕃尉義冬、淺井田宮丸雄政、瀧川三郎兵衞雄利等、此れも異口同音に、

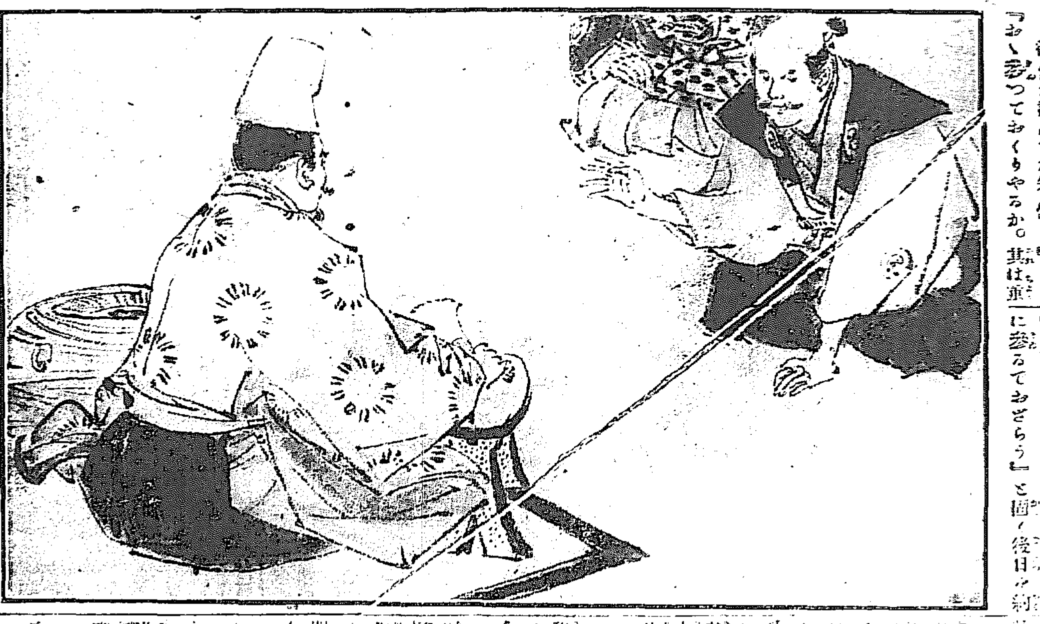
『一旦御憤りはさる事におざりまする。我々とても筑前守が振舞ひ、何なる存慮あつての事か、甚だ其意を得ざる儀と、深く疑ひ居ります。去りながら、筑前守は立ところに先殿の怨敵を討ち亡し、今また君の怨敵、修理亮勝家を滅した大功おざりまする。此兩度の歩運めでたく、諸大名の心を寄せたる所に、君今輕々しく軍を起し給ふ時は、諸大名悉く離れ背きて、由々しき大事と成り申さう。此處十分御賢慮あつて然るべう存じ奉る』

誠心面に表はれて、忠諫を進むる程に、信雄も忽ち其理に服して、先づ秀吉誅伐の沙汰は、其場限りに消えたのであつた。

秀吉が途中より踵を還したのは、素より遠謀深慮があつたからである。表面は急病差し起つて、拜賀に出へ難しといふのであつたが、物に脫かりぬ秀吉は、信雄の憤怒の狀をも、四家老が諫言の樣をも、手に取る如く知り得たのであつた。

『嘸惑とて由斷はならぬわ。去年の正月十八日、彼卿潜びで濱松へ參られ、徳川少將を訪はれたのは、何の爲ぢや。織田徳川は同盟の間柄、禮儀を盡すといへば其れまでぢやが、誰か入智慧をしたであらうな』

秀吉は斯ういふ獨語をして、きつと腕を組み合せた。



隨鷗吟社百十四回例會七絕聯句（三月十二日於上野三宜亭）

嫩紅春上雪餘梢　大幾孩庵
鐘引遊人緩緩敲　岩渓裳川
休學狂嵬空濟景　天井龍山
須霽詩句向東郊　関澤霞庵
堅賢無不是詩豪　岡田松東
話到江山笑語高　佳月井柳堂
一帶園林春雪裡　土居香坡
陶然逸好醉芳醪　石崎篁園
松梢落屑也無多　宮下碧雲
湖上晴煙抱海羅　渡邊晴帆
得詩情兼酒意　坂井南洋
誰廣一曲鄂中歌　菊池惺堂
蠟屐來尋湖上家　勝島仙坡
雪餘山色映晴沙　丸山龍川
舉杯仍覺春寒峭　上村賣劍
醉裡聞香看晚花　三好蝕石
束書春雪共花香　関川徳軒
此日壺觴飛羽觴　石川水芽
態外鶯歌多錦色　中村蘇林
醉吟廻句興偏長　編見綏江

遠江大舞臺　湖舟近撰（九十四第三回撰）

論落の女役たる床寒哉　水月坊
賑ほにうなり出しけり凧　浮木
凧や凧意氣衝天の唸り哉　木水
若鮎の一瀬〳〵にふとる哉　鼓郎
梅咲くや老の外出も久し振り　三保
紅梅や姫の化粧も濃に　逸郎
ぬか香やついうか〳〵と小半日　同
若鮎や木の芽につれて二三寸　浮木
取るもなし取らぬもなしき小賭哉　不皎
書初や墨痕淋漓鮮かに　水戸坊
書初めや忠誠の四大文字

三光

（人）天守閣かすめてすむや凧　和山
（地）梅折る畝傍や鋼の牛眠る　桂舟
（天）書初に見ゆる苦學の力かな　半山

軸

見る人の元氣ますなり梅の花　選者

新刊紹介

▲無駄なき生活　山脇房子女史の口授せるものを筆記編次せるものにして全部悉く修養、嗜好、交際、家庭、儀式等に就て懇切丁寧に說述せるもの女學生及び一般家庭に一本を備ふべき好書也（一圓東京市牛込區神樂坂町一東亞堂）

▲經濟資料（第二卷第一號）東亞欄には西伯利民、食料品としての大豆の位置、最近支那商業事情、歐米欄には露國石炭事情、雜報欄には佛國植民地鐵道概況、印度鐵道概況、英國米成鐵道發展、支那棉花栽培獎勵、蘇士運河近況等の記事を載せ參考には石油に關し內外各國の圖書、雜誌、新聞、報告等を八十七頁に亘りて網羅列擧せる最も貴重なる資料を掲げたり（非賣品、東京丸の內有樂町滿鐵東京支社經濟調査局發行）

▲大阪小間物商工新報（四五七號附錄大阪石鹸界共一號月二回發行半年分三十五錢大阪市東區北久寶寺町二の四四其社）

▲養蜂界（八七）六錢愛知縣中島郡興町其社

▲菜界新報（九ノ三）二十錢東京市小石川區水道端町二の六四其社

▲大日本蠶糸業者名鑑　一圓東京府荏原郡品川町角筈一、蠶絲社

▲ツーリスト（一八）非賣品東京驛內其社

▲コニシタイムス（二一）東京市日本橋區本町二小西本店

▲山東通信（三）四十錢山東省濟南其社

▲臺灣教育（一六六）二十錢臺灣總督府民政部學務部內其會

▲評論之評論（八の三）東京市赤坂區丹後町其社

▲大日本通信農學會其會

▲病蟲害雜誌（三の三）十五錢東京市小石川區原町一二大日本植物愛護會

▲工學（三三）二十五錢東京市日本橋區本石町一の一其社

讀者の領分

▲寒い〳〵三四日前の夜、第二〇號の僞犬は主を慕うて停車場迄も汽車の中までも見送つたが最早飼主夫人には可愛犬にまで情の涙はなかつたのか既に其犬のくびには暖かい『くびわ』もなくすご〳〵待合室に蹄つて去りし夫人の先程棄て〳〵行つた『ハンカチ?』を喰へて去つたサテ此先は無論のら犬に爲り終るだらう（トナリノ男）▲新案特許權を得るには如何なる手續を要しますか又特許局は何處にありますか（慶北愛讀者）▲御紙に俳句其他愉快なる記事の場所を少し設けられては如何ですか我々は大いに投書致します日々の新聞により人々の心を愉快ならしめ且進步發達する樣に大いに御すゝめ致します我京城日報の進步發展を祈る（本町芙蓉生）▲雖有う俳句は毎日の樣に出してゐます愉快なる記事の場所とは何んな場所か御教示を仰ぎます（係）▲龍山の坂本君、四小門通り西崎君お前の赤色の染料は一匁二十五錢相場入用なら相談する（鍾路新月）

商況

大阪株式（米…）

東京公債直取引

深川在米特電

▲後場の手振り

▲今節見送る

▲商氣旺盛

京日案內

普通（一回金十錢）匿名一回毎に金五錢增

滿蒙處分論　定價金一圓　郵稅金十二錢　京城日報代理部

◉乳質安全　朝日牧場牛乳販賣部　明治町二丁目　電話二八一八番　配達迅速　425

◉古本品拂底に付無代高價買入　御一報次第即刻參上　電話二七八一番へ　京城本町四　書肆聚書堂　565

▲山葉オルガン　▲鈴木ヴァイオリン　直輸入　京城本町二丁目角　勢山樂器店　426

◉內勤女事務員募集　自筆履歷書携帶本人來談あれ　大平通り二丁目　朝鮮公論社　439

◉有給外交員採用　希望者履歷書携帶　一二三番地　帝國圖書普及會支部　438

▲山葉オルガン　▲鈴木ヴァイオリン　マンドリン　京城本町二丁目角　勢山樂器店　431

▲店員入用　希望者至急來店あれ　龍山鐵道構內　電話五〇番　432

◉古本買入　▲御報參上　▲地方送金　電話八六五　京城本町二　森田文光堂書店　561

◉看護婦見習入用　年齡十六歲以上經驗の有無を問はず　永樂町西本願寺前　宮地醫院　441

番外（匿名一回金…）

內科　小兒科　皮膚病　花柳病　胃腸病　京城北米倉町（法通內醫院跡）錦城醫院　院主　金谷友經　電話五九五番　415

結核　腺病　古賀液の注射療法（入院隨意）京城南山町二丁目　松岡醫院　電話六七五番　549

▲毛皮ナメシ專門　▲親切叮寧迅速　染仕立　地方郵送の事　京城黃金町三　電取次二一〇　和泉商行　591

◉今が御申込の時機　僅の會費で新刊雜誌が其月によめる　廻讀會　京城本町四丁目　電話一三七八　松井松榮堂　563

二十一日（春季皇靈祭）正午より開會　會費一圓　呈夕食　春季圍碁大會　本町四丁目一三三　川上碁席　433

入札　骨董書畫　十八日下見、十九日入札　聚古堂　電話三三三番　443

▲元遞信技師高原電氣工業所製造　サクラ乾電池　平角三號價九拾錢　遞信局鐵道局御用品　京城黃金町三　巴商行電氣部　電話一四二五　435

◉花柳病外科專門　▲司生堂醫院　入院隨意　京城南大門通（農工銀行裏）　434

內科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）　京城旭町一丁目（鈴木醫院跡）　醫學士　小林千壽　小林醫院　電話六九二番

日韓書房　新版報告
日鮮文對照　朝鮮鑛業令
千早活　商業書簡文
商店繁榮策
店頭裝飾術
小店經營法
京城本町二丁目　電話一四五二　振替口座一一七五

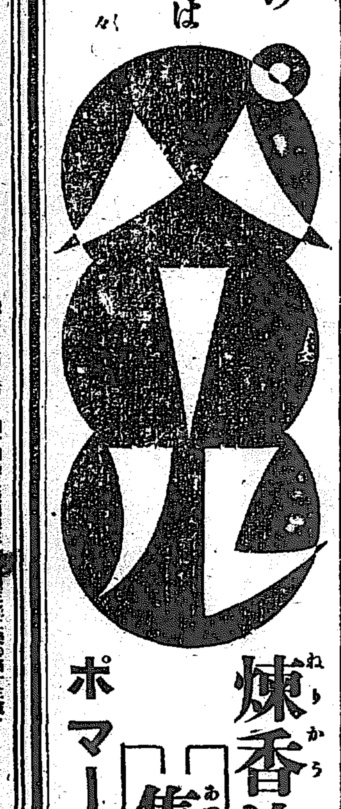
板硝子直輸入商　釜山本町一丁目　村上商店　電話百十九番　振替口座一四五番
◉相場表御一報次第郵呈仕候

糖尿病根治藥　アラリヤタキスース　天信堂

生殖器療法　器械
生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか交接不快、腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に專賣特許眞空療法を一週間施す時は一回每に効力が現はれ諸博士も其實驗を證明し諸氏の賞讚湧が如し詳細は說明書無代進呈直接來所者には附屬醫院部にて懇切說明す
東京神田小川町　電話神田七二二番　眞空療法研究所

種と苗
蔬菜、草花、山林用種子、果樹、山林、觀賞苗樹、球根花卉、和洋農具、各種肥料、驅除劑
春季說明附營業案內無代進呈
▲於昨秋共進會數度、蔬菜の種子、果樹、山林の苗木に亘り四個の銅牌を受領せしは唯本園あるのみ以て各種苗の如何に精良なるかは夙に各農家の均しく是認する所
京釜線鳥致院　朝鮮興農園　電話四二七番　振替京城三七番

りん病　ばい毒　專門藥房
吾が社は天下に名の有る、りん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、只世界の有りと有らゆる淋病黴毒藥の長所を取つて藥味及び製法に間斷無く改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥でも効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月四日及九日の京城日報御覽。近頃各地に僞ドラッグ續出せり御注意を乞ふ●りん病藥壹週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓●ばい毒藥一週間分普通貳圓特製參圓●照會は返信券を要す
京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會朝鮮本部　電話二五六七番　振替京城四六七番　本舖　大阪　合資會社ドラッグ商會



本舖　東京　平尾贊平商店・平尾贊平支店　大阪

京春自働車連轉　京城南大門通一丁目二番地　春川發午前九時　京城發午前八時
廣橋京春自働車組　電話二一九番

大邱幸町郵便局前　東洋館　電話五四五番

大邱軍威義城安東間　定期乗合郵便馬車　小荷物運送、代金引換、荷馬車業開始　大邱營業所

日本郵船仁川出帆
河南丸　大連、天津、牛莊行　三月廿一日　正午出帆
相模丸　四月四日　正午出帆
高砂丸　四月十日　正午出帆
仁川代理店　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
吉辰丸　三月十八日
天智丸　三月廿五日　午後五時出帆
宮島丸　三月廿三日
安東丸　三月廿五日
城津丸　三月二十日　午後二時出帆
信濃川丸　三月廿八日
安東丸　三月廿一日　正午出帆
潮州丸　三月卅一日　正午出帆
福州丸　三月廿六日
須磨丸　清津、浦潮行（元山出帆）三月廿七日
臺北丸　三月十七日
大智丸　三月廿二日　午後二時出帆
安平丸　上海、基隆、打狗行（大連出帆）三月十六日　後十時出帆
新高丸　三月廿四日　後四時出帆
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
京城切符發賣所　大阪商船會社京城支店
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引

尼崎汽船仁川出帆
秀吉丸　群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　三月廿九日後四時出帆
太有丸　三月廿二日後四時出帆
神代丸　三月二十日後四時出帆
蛟龍丸　月　日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆
仁川代理店　尾杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　神丸　三月廿一日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　神丸　三月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　三月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　月　日後十時出帆
○元山、城津、新浦、浦鹽行　第三琴平丸　三月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　三月十九日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、博多行　天草丸　毎月二日五日十一日廿一日廿六日　午後十時出帆
大池回漕店

朝鮮郵船
全羅丸　四月三日
京畿丸　四月二日
咸鏡丸　三月廿七日　釜山發
穩城丸　三月廿四日
昌平丸　三月廿八日　元山發
平壤丸　四月十二日
忠清丸　三月二十日
永興丸　毎月廿八日　元山發
盈德丸　三月廿一日　釜山發
江陵丸　毎月　日
義陽丸　（釜山浦項）發
三浦丸　三月十七日　釜山發
統營丸
海州丸
巨濟丸　每日　釜山發
順天丸　三日目毎　木浦發
慶興丸　三月十七日　木浦發
公州丸　三月廿二日　木浦發
公州丸　三月十九日　木浦發
宗信丸　三月廿二日　仁川發
江原丸　三月十七日　仁川發
麗水丸　三月十八日　仁川發
晉州丸　三月廿三日　仁川發
錦江丸　毎日午前　仁川發
南陽丸
平安丸　三月廿三日　群山發　若松發
京城代理店　松原運送店

共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行　三月十九日後二時
第一麒鶴丸　城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　月　日　後九時出港
第三清和丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆）　月　日　前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店